

TOTO

取扱説明書

工事店様
へのお願い

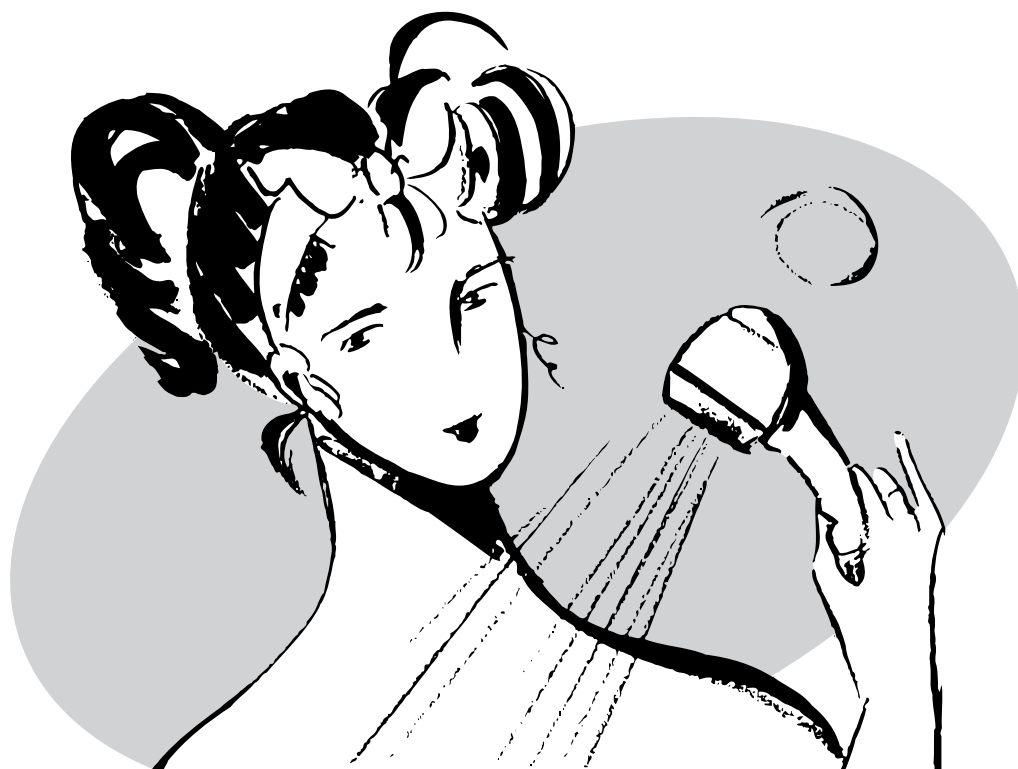
保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

定期点検情報掲載

電温ユプロ<セミオート>

RE3714、RE4614（標準圧力型）

RE3714U、RE4614U、RE5614U（高圧力型）



- このたびは、TOTO電気温水器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にこの説明書と保証書をお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書と保証書は大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。
- この取扱説明書に記載されてるリモコンと異なるリモコンが付いている場合があります。その場合は、そのリモコンの取扱説明書と併せてお読みください。

RE3714U・RE4614U・RE5614Uは高圧力型電気温水器です。

『労働安全衛生法施行令』が平成10年12月に改正され、小型ボイラーの規制が見直しされたことにより、今までの電気温水器の最高使用圧力が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより階上への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外（事業所等）でご使用の際には改正に伴い諸条件が義務付けられています。詳しくは、57・58ページをご覧ください。

ご使用の前に

使用方法

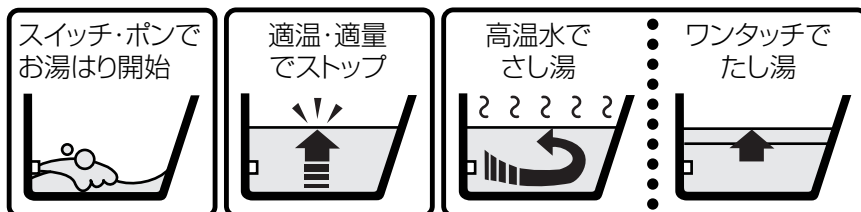
点検・お手入れ他

はじめに

■ワンタッチお湯はり

お湯はり を押すだけで、自動的にお湯はり。(21・22ページ)

さらに、ワンタッチ操作で高温水を供給できます。(23ページ)

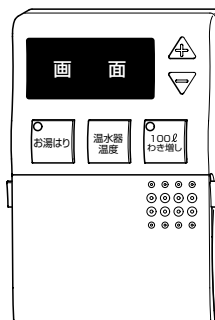
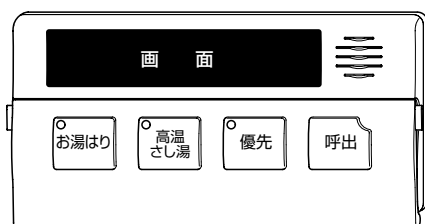


■リモコンについて



音声ガイド

操作の内容を音声やメロディでお知らせします。お湯はりが終わったとき、誤った操作をしたとき、注意を呼びかけたいときなどに音声によってお知らせします。



■お湯は大切に

- 1日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなります。(時間帯別電灯契約にてご使用の場合は昼間のわき増しも可能です。わき増しの方法は 29ページ「お湯をたくさん使う(わき増しする)」をご参照ください。)
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。
- 入浴は、できるだけ深夜通電時間帯(午後11時～午前7時…地域により一部異なります)を避けて入浴してください。深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。
- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから高温さし湯を行ってください。
- 浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。

選べる電力契約

この温水器は「時間帯別電灯契約」と「深夜電力契約」のどちらの契約でも使用できます。詳しくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。

[時間帯別電灯契約]

ご家庭のすべての電気製品に適用される電力契約。昼間の料金は通常より若干高くなりますが、昼間でもわき増しができるため湯切れの心配がありません。夜間の料金は深夜電力並(昼間の約1/3)ですので夜に電気をたくさん使うご家庭に最適です。

[深夜電力契約]

電気温水器等の蓄熱機器にのみ適用される電力契約。翌日使用するお湯を午後11時～午前7時(一部の地域では異なります。)の間にわかしてためておきます。料金は昼間料金の約1/3です。

(注) 工場出荷時は時間帯別電灯契約用の設定になっていますので、温水器の設定変更が必要です。

❖ もくじ ❖

●特に注意していただきたいこと	1
●各部のなまえとはたらき	7
●本体外観図	7
●本体内部図及び周辺図	8
●浴室リモコン	9
●台所リモコン	11
●使用前の準備	13

●時計を合わせる	15
●お湯を使う	17
●お風呂での便利な機能	19
●浴室リモコンを操作させたくないとき	20
●お湯はりをする	21
●お風呂での操作	23
●お風呂がぬるいとき	23
●お風呂のお湯が少ないとき	24
●お風呂が熱いとき	24
●浴室から人を呼びたいとき	24
●入浴予約をする	25
●わき上げ温度設定のしかた	27
●お湯をたくさん使う	29
●運転を休止する	30
●音声ガイドを消したいとき	31
●画面表示を消したいとき	32
●温水器のお湯の量を確認する	33
●そのほかにリモコンでできること	34
●浴室リモコンの設定変更	35
●台所リモコンの設定変更	37
●断水のと きなどにお湯を取り出す	39

●定期的な点検	40
●日常のお手入れ	41
●凍結による破損を予防するには	43
●こんなときは	44
●故障かな?と思ったら	47
●定期的な部品交換のお願い	52
●アフターサービス	53
●仕様	54
●事業者様へのご案内	57

ご使用の前に

使用方法

点検・お手入れ他

✧ 特に注意していただきたいこと ✧

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		感電注意
	分解禁止		必ず実行
	接触禁止		高温注意
	アース工事		

警告

■やけどに注意

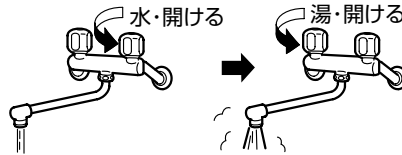
- シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。
(湯温を確認せずにシャワーを浴びるとやけどのおそれがあります。)

指先等で温度を
たしかめて!



高温注意

- お湯を使うときは、まず水から。



必ず実行

- 使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)




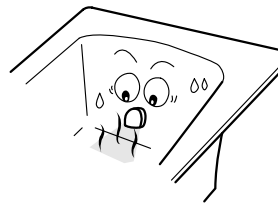
必ず実行

- 浴槽にお湯がないときは、浴槽に入ってリモコン操作をしないでください。
浴槽にお湯がないときにリモコン操作をすると、ふろアダプタから熱いお湯が出ることがあります。浴槽のお手入れを行うときは特に注意してください。
(やけどのおそれがあります。)



禁止

-  を押すと約70℃又は約90℃のお湯が出ますので浴槽に充分お湯があることを確かめてからご使用ください。
(やけどや破損の原因になります)



必ず実行

- 高温さし湯使用時にはふろアダプタを手や足で触らないでください。
(やけどの原因になります)

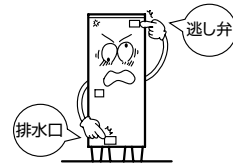


❖ 特に注意していただきたいこと ❖

警告

■ やけどに注意

- 逃し弁の動作確認時および排水中は、
逃し弁・排水口に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



■ シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

- (突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります)

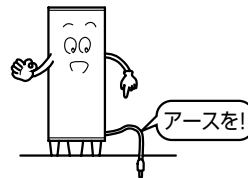


■ 機器の設置（及び付帯工事）

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店または工事店に依頼し、
安全な位置に正しく設置して使用してください。
(設置工事に不備があると事故の原因になります)

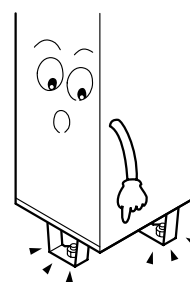
■ アース（D種接地）工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき、
感電する原因になります。アース工事はお近くの
工事店に依頼してください。



■ 本体が固定されているか確認する

- 本体の脚がアンカーボルトで固定されているか、
また、本体上部が上部振れ止め金具で壁に固定
されているか確認してください。
(本体が倒れてけがをするおそれがあります)



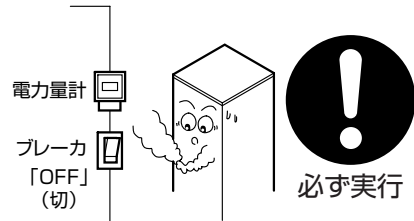
警告

■異常時の注意

エラー発生時や異常時（こげ臭い、ふろアダプタからの蒸気吹出し、本体及び配管部分からの水漏れなど）はブレーカーのレバーを「OFF」（切）にして止水栓を閉じ、お取付け店又は東陶メンテナンス（株）に連絡してください。

また、高温の湯が出るおそれもあり危険ですので、お湯の使用・入浴を中止してください。

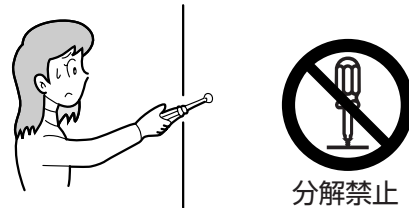
停電時についても、タンク内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。



■分解・改造しない

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

（故障、感電の原因になります）



■近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。

（発火、火災の原因になります）



❖ 特に注意していただきたいこと ❖

注意

■ みだりに飲用はしない

長時間たまっていたお湯は飲料用に用いないでください。
(水質の変化により下痢、腹痛などをおこす場合があります)



■ 水道水以外は使用しない

水道法の水質基準に適合した水道水を使用してください。
井戸水や温泉水を使用すると機器内の配管が腐食したり異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。



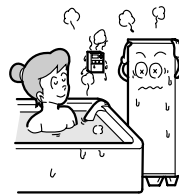
■ 逃し弁レバーを開き(レバーを上げる)、排水口より水が出ることを確認してから、専用配線用遮断器および配線用遮断器、温水器の電源スイッチを「ON」(入)にする。(👉 7・8ページ参照)

(ヒーターが空だきとなり故障の原因となります。)



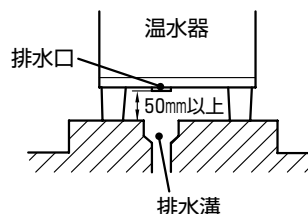
■ 温水器や台所リモコンが浴室などの湿気の多いところに取付けられていないか確認する

(火災、感電の原因になります)



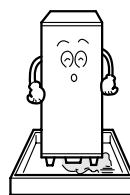
注意

■排水口は、排水溝より50mm以上離れているか確認する
 (排水が逆流するおそれがあります)



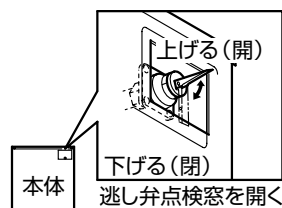
必ず実行

■床面が防水処理・排水処理されているか確認する
 (水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります)



必ず実行

■逃し弁を点検する
 必ず月に1回逃し弁の点検をしてください。
 (☞ 41ページ)
 (逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります)



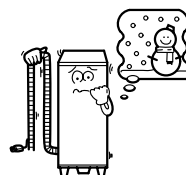
必ず実行

■減圧弁・逃し弁は必ず定期的に交換する
 (☞ 52ページ参照)
 (劣化により機能の低下や水漏れする可能性があり、大きな被害を与えることがあります)



必ず実行

■凍結予防対策を確認する
 (凍結すると配管などが破裂するおそれがあります)
 (☞ 43ページ)



必ず実行

■前面パネルは絶対に開けない
 (ショート、感電のおそれがあります)

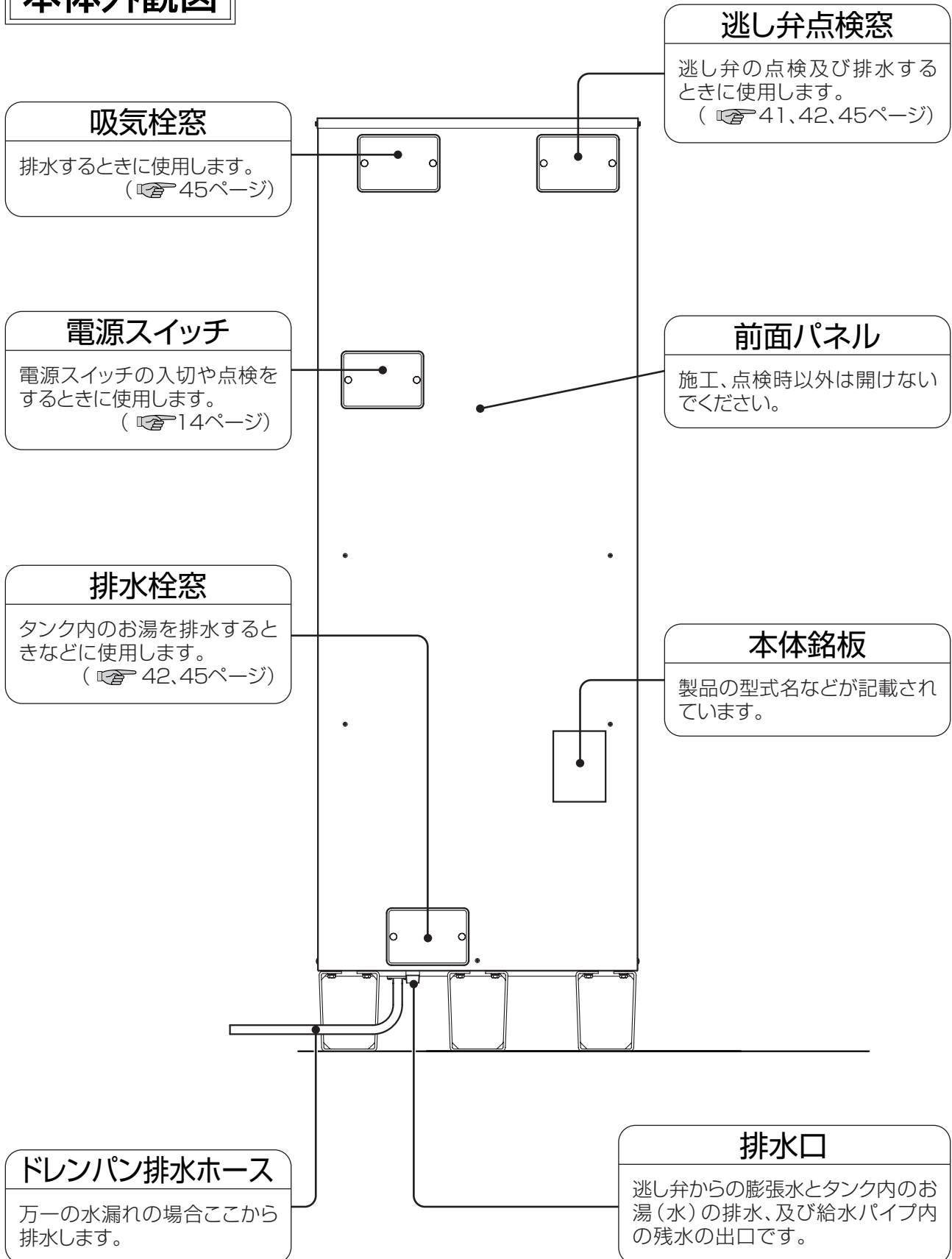


禁止

✧ 各部のなまえとはたらき ✧

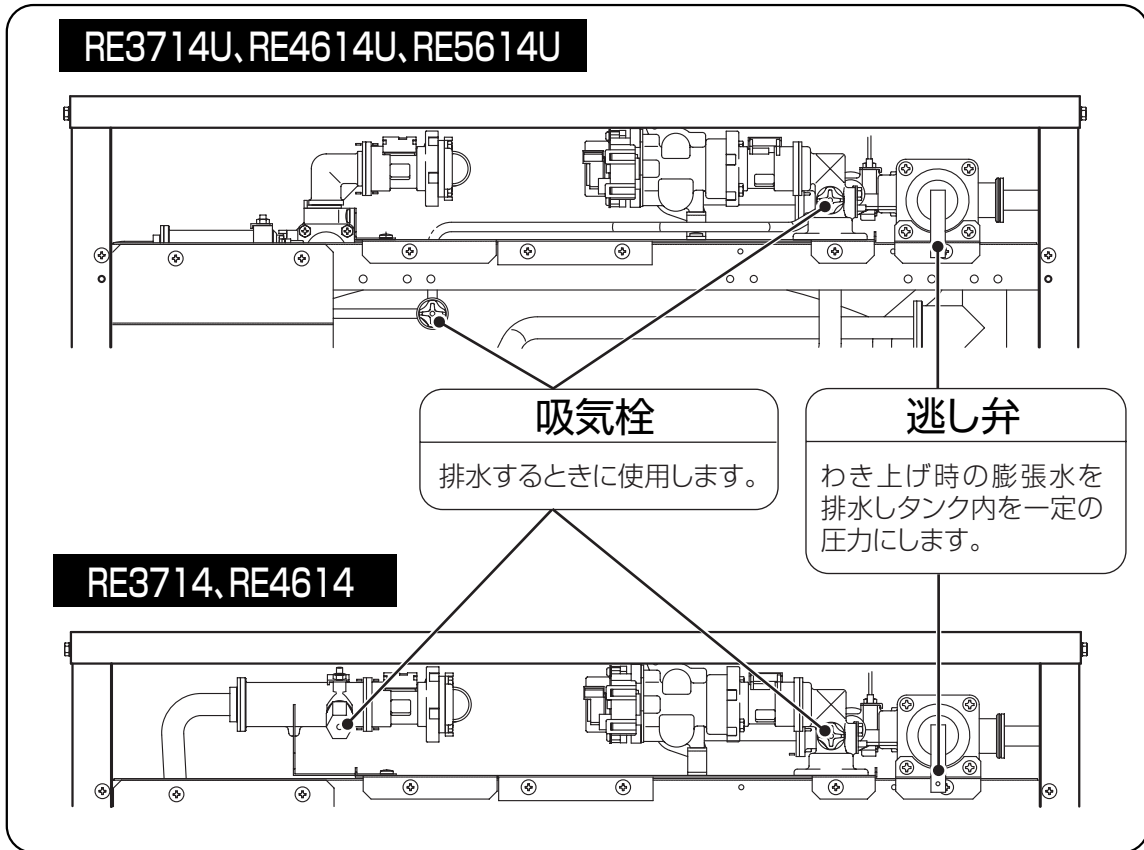
快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

本体外観図

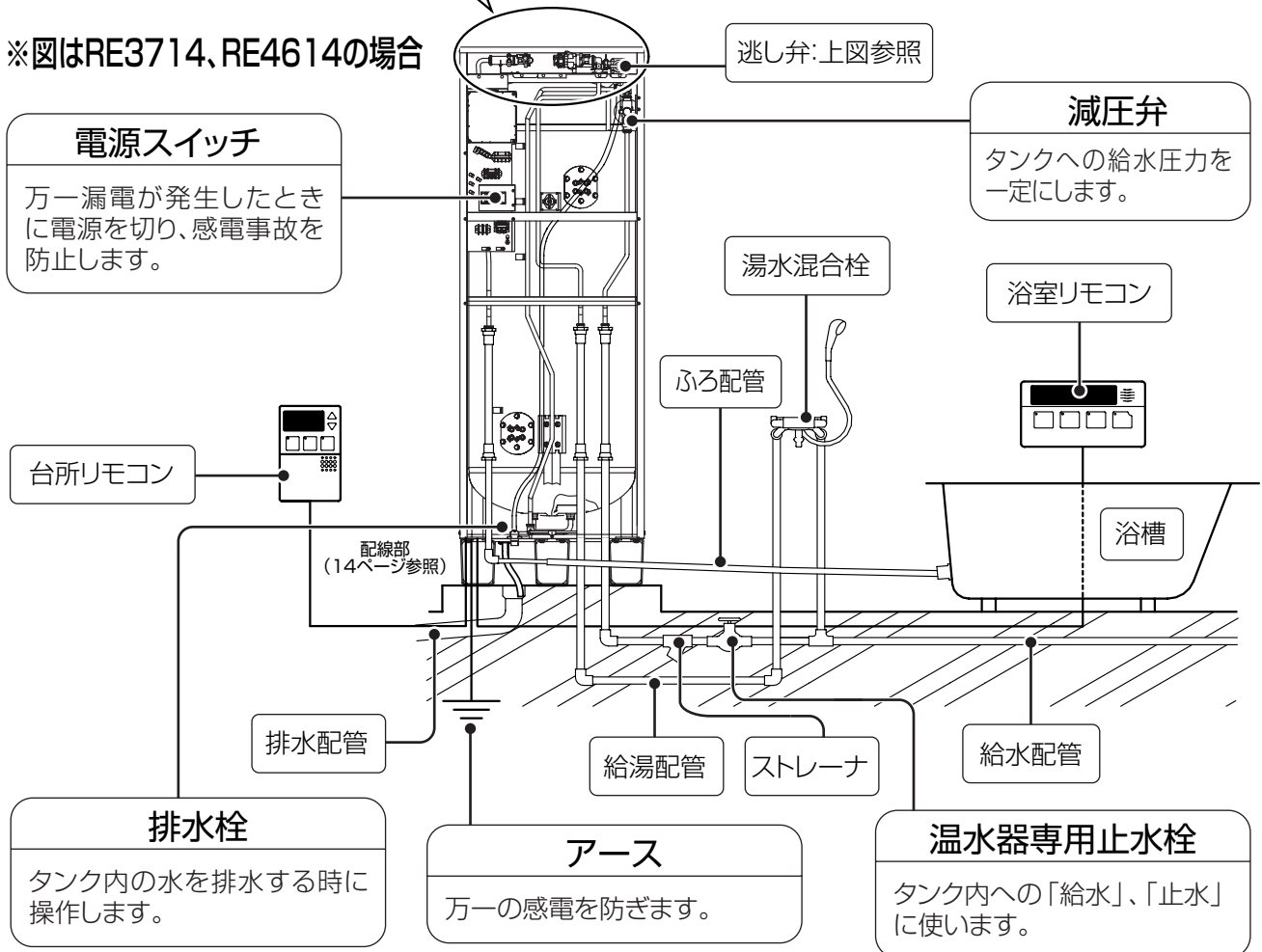


本体内観図及び周辺図

各部のなまえとはたらき



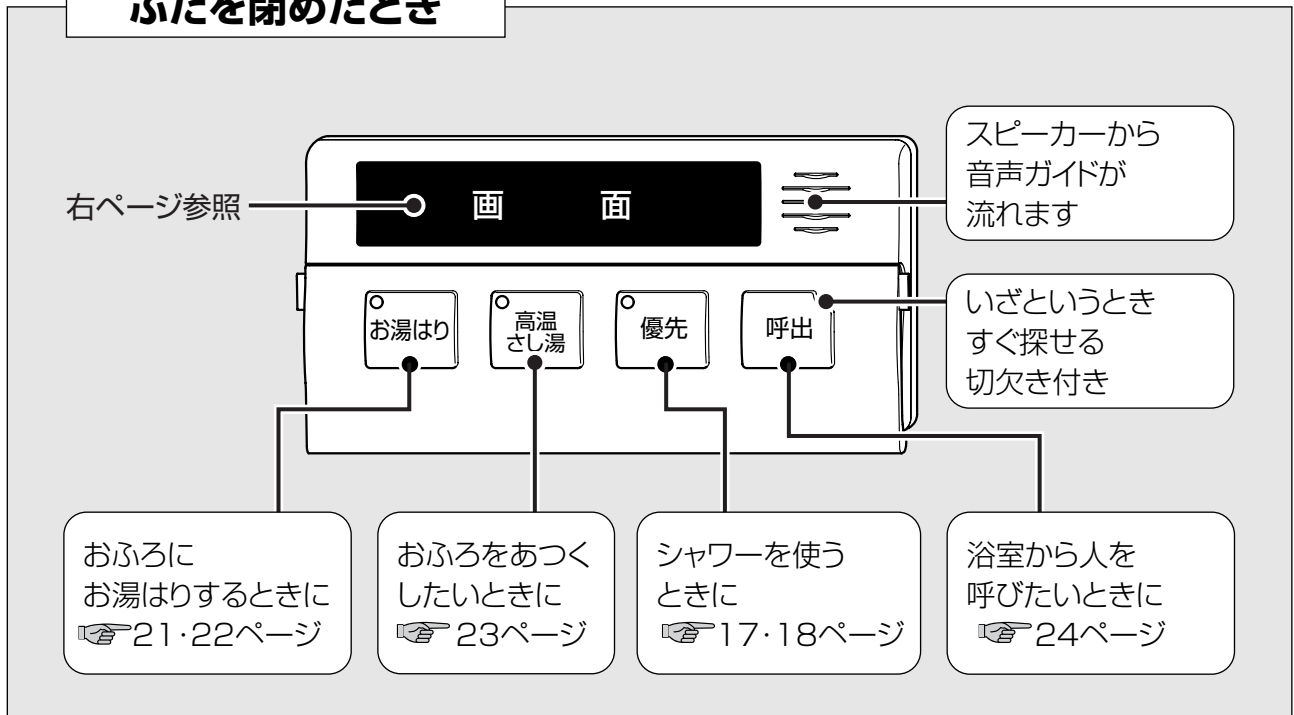
※図はRE3714、RE4614の場合



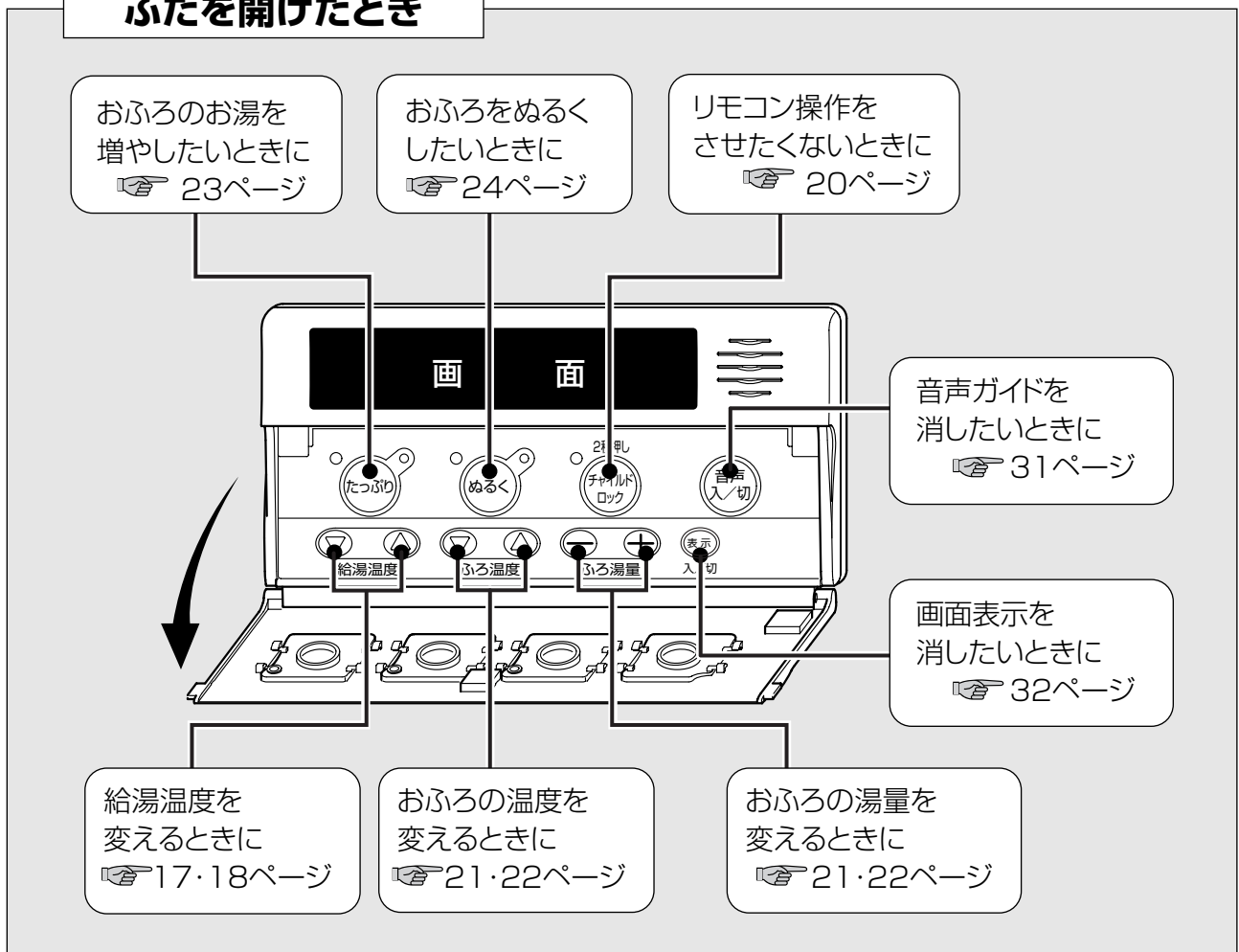
各部のなまえとはたらき

浴室リモコン (別売品:RAC142F)

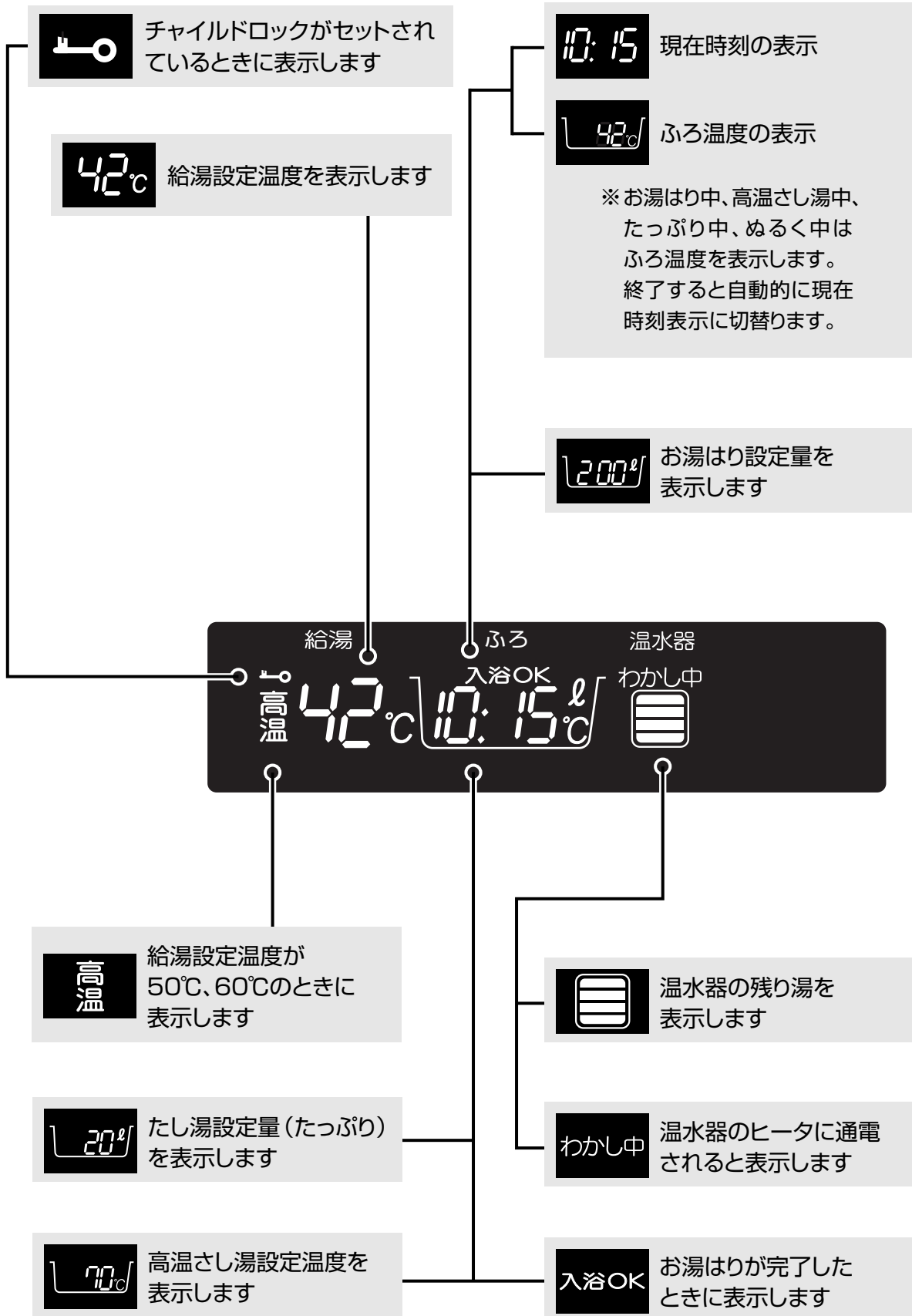
ふたを閉めたとき



ふたを開けたとき



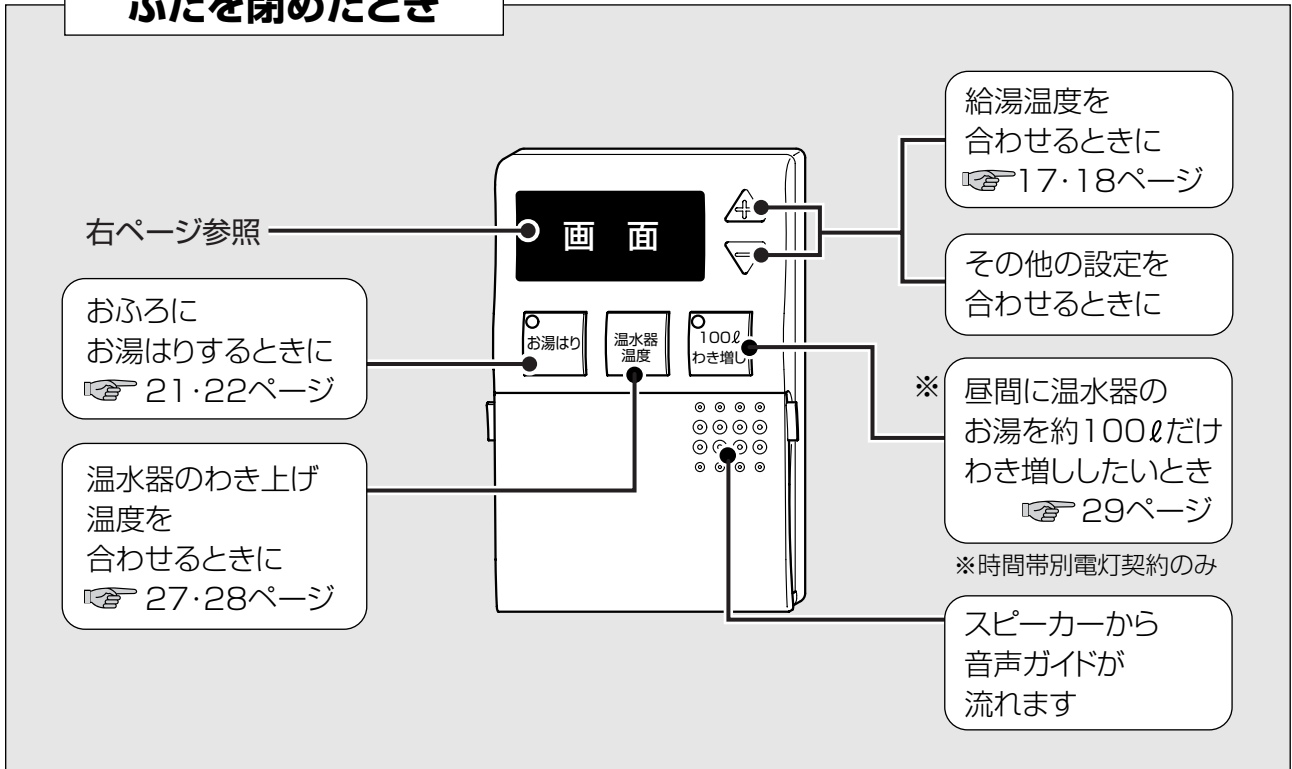
表示画面例



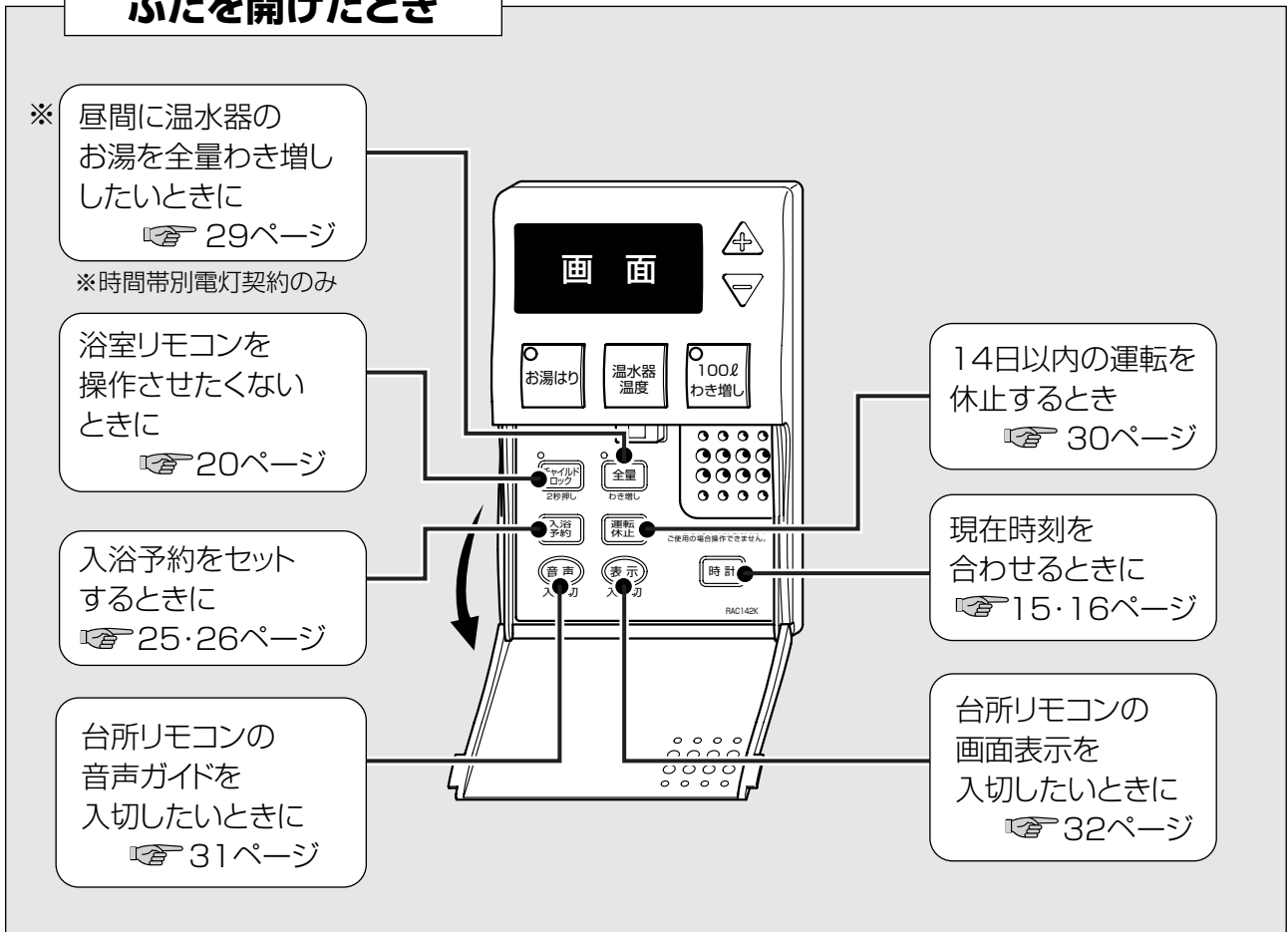
各部のなまえとはたらき

台所リモコン (別売品: RAC142K)

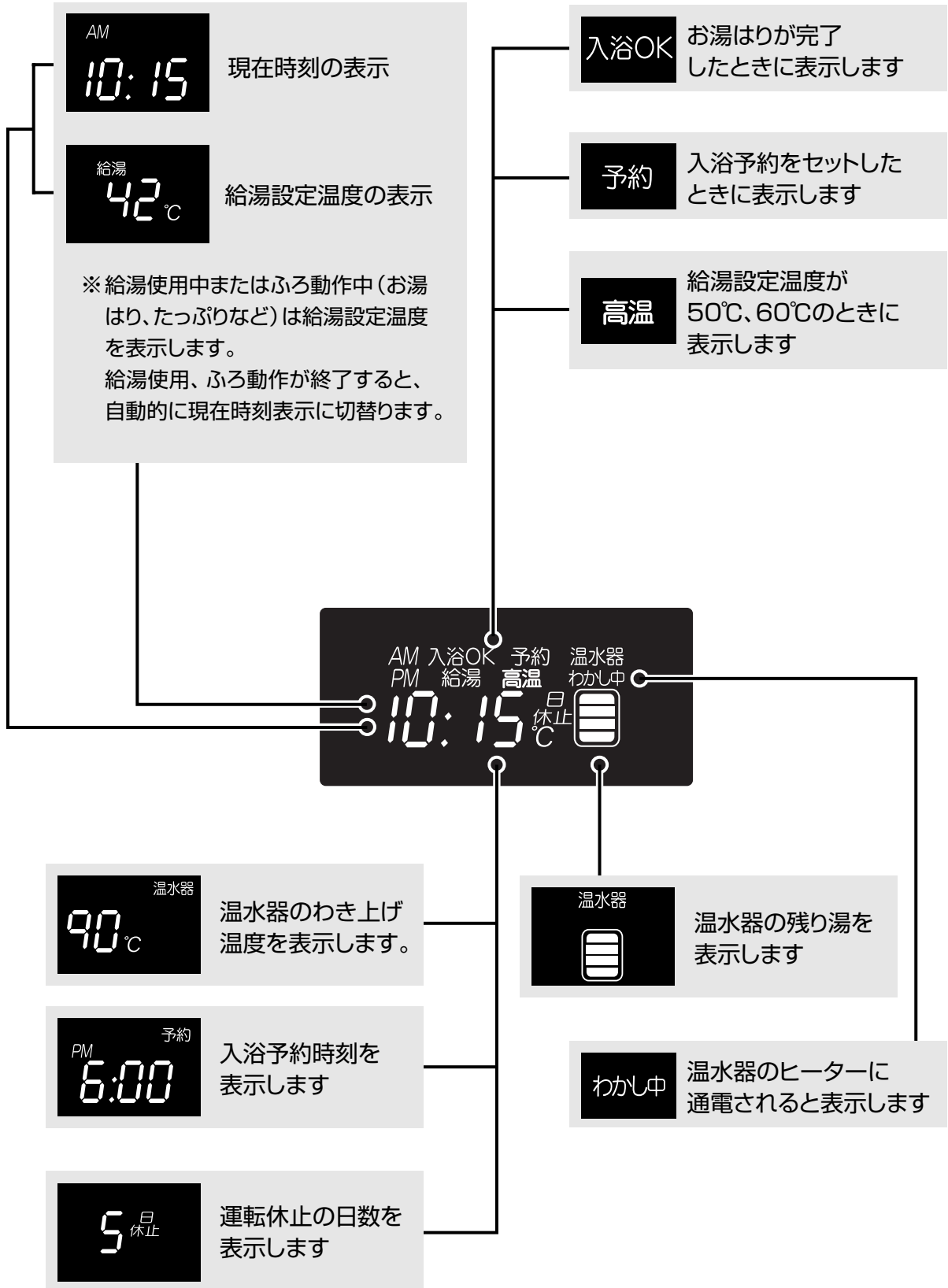
ふたを閉めたとき



ふたを開けたとき



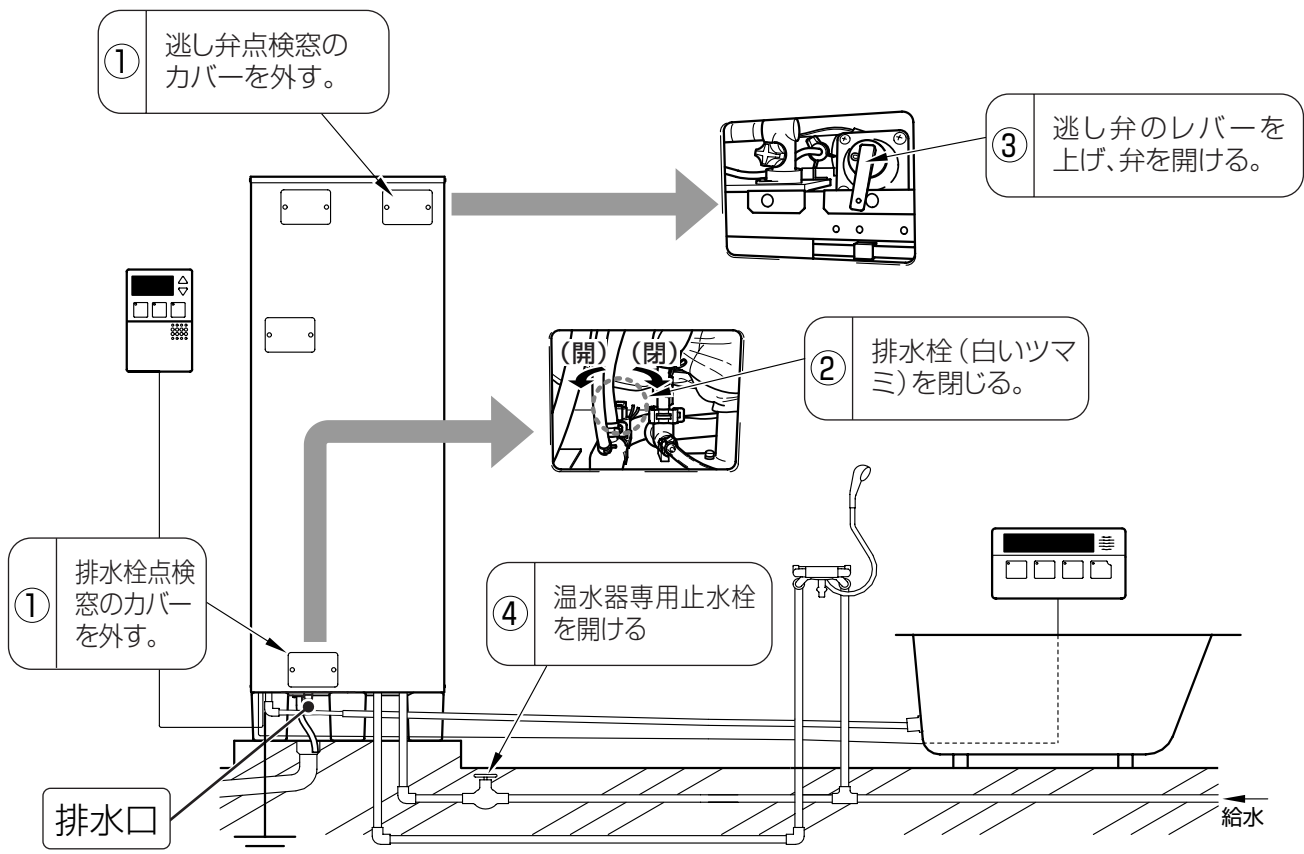
表示画面例



✧ 使用前の準備 ✧

最初の給水のしかた

- ① 下部の排水栓点検窓を外します。
- ② 排水栓が閉まっていることを確認します。(開いているときは、閉めてください。)
- ③ 上部の逃し弁点検窓を外します。
- ④ 逃し弁のレバーを上げます。(弁を開けます。)
- ⑤ 温水器専用止水栓を開きます。
排水口(逃し弁チューブ)から勢い良く水が出てきたら、タンクが満水になっているので、逃し弁のレバーを下げます。(弁を閉じます。)
- ⑥ ①で外した上部の逃し弁点検窓、下部の排水栓点検窓を取付けます。
注) 給水中は湯水混合栓の湯側を必ず閉じてください。



ちょっと一言

- 温水器専用の止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
- 最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、満水になったら一度、全部排水し再び給水してください。
(排水のしかた、再給水のしかたは、45・46ページを参照してください。)

わき上げのしかた

■ 7・8ページの「各部のなまえとはたらき」を参照のうえ、操作してください。

- ① タンクが満水になっていることを確認した後、ブレーカーを「ON」(入)にします。
- ② 本体の電源スイッチ(200V主電源)を「ON」(入)にします。
※深夜電力契約の場合は補助電源スイッチ(100V/200V補助電源)も「ON」(入)にします。
- ③ リモコンの時計を合わせます。
※必ず時刻を正確に合わせてください。(☞ 15ページ)
- ④ 夜間の通電時間になると自動的にわき上げを開始します。
※水温15℃で90℃までわかし上げる場合、約8～8.5時間かかります。
(水温が低いと長くかかります。)

注意

■ 逃し弁を開き(レバーを上げる)、排水口より水が出ることを確認し、電源スイッチを「ON」(入)にする。
(ヒーターが空だきとなり故障の原因となります)



必ず実行

ちょっと一言



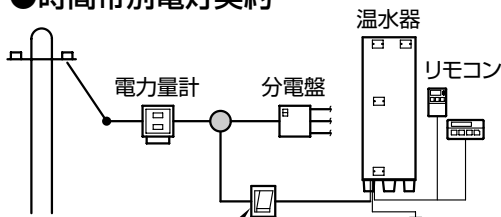
- 時間帯別電灯契約でご使用の場合は、リモコンの時計の時刻をもとにわき上げを行います。必ず正確に時計を現在時刻に合わせてください。(☞ 15ページ)
- わき上げ時間帯は午後11時～午前7時までです。(地域により一部異なります。)
- わき上げすると排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

※配線は電力契約で異なります。

電力契約については、お取付け店(販売店)にご確認ください。

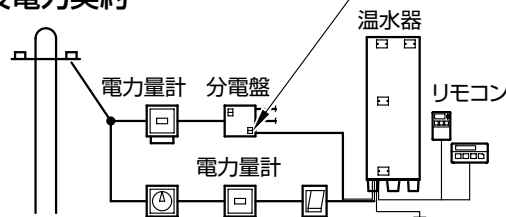
配線例

● 時間帯別電灯契約



ブレーカー(配線用遮断器)
200V電源の「入」、「切」をします。

● 深夜電力契約



タイムスイッチ
深夜電力電源200Vの供給を自動的に「入」、「切」します。

ブレーカー(配線用遮断器)
(昼間電力使用によるリモコン用)
200V/100V電源の「入」、「切」をします。

ブレーカー(配線用遮断器)
200V電源の「入」、「切」をします。

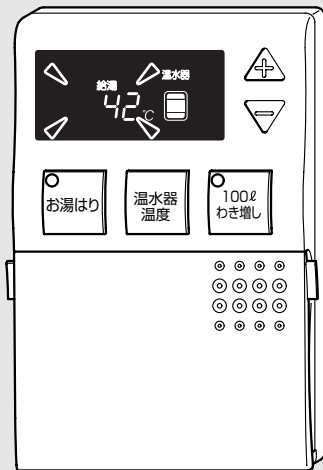
時計を合わせる (台所リモコンで操作)

- **必ず時計の時刻を正確に合わせてください。**

時刻を合わせていないとタンクのお湯がわき上がらないことがあります。

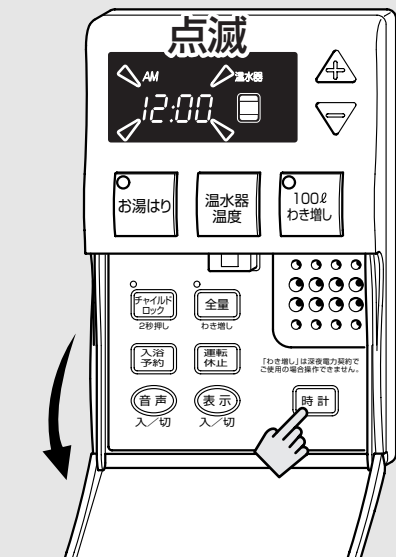
例) 午前10時15分に合わせる場合

1 ブレーカ及び本体の電源スイッチを「ON」(入)にする



※温度を表示しています。

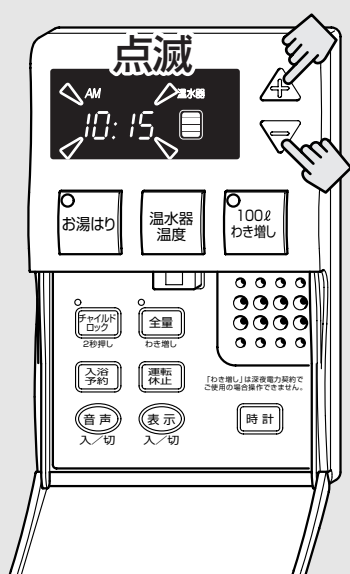
2 リモコンのふたを開ける 時計スイッチを押す



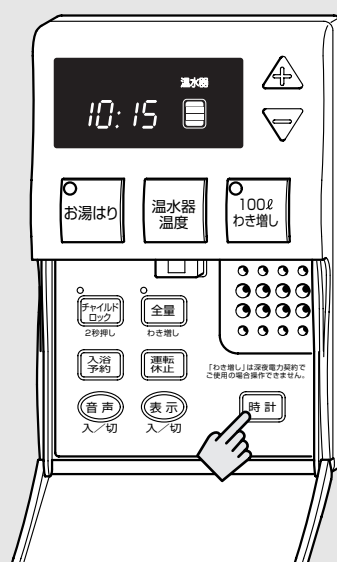
ちょっと一言

- 時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。
AM (午前)、PM (午後) を間違えないように合わせてください。また、時計を月一回程度確認してください。
- 深夜電力契約の場合は、時計を設定しなくても深夜のわき上げができます。

3 ▲・▼ スイッチを押し 現在時刻に合わせる



4 再度 [時計] スイッチを押す



※約25秒間操作されないと時刻が
確定されます。

▲・▼ スイッチは

- 1回押すと

▲ 1分単位ですすみませす

▼ 1分単位でもどります

- 押したままにすると

▲ 30分単位ですすみませす

▼ 30分単位でもどります

お湯を使う

お湯を使う前に

お湯を使うときはリモコンで設定温度の確認をしてください。

警告

やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



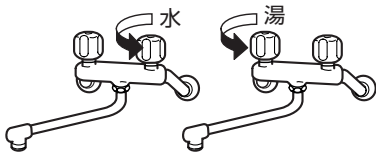
接触禁止

- シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。



高温注意

- お湯を出すときはまず水から
①水側を開ける ②湯側を開ける



高温注意

- お湯を止めるときは湯側から
使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



高温注意

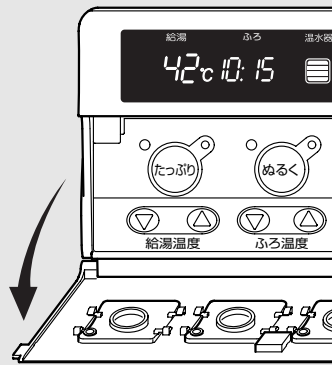
お湯を使うには

リモコンで給湯温度を約35~50・60℃に調節できます。

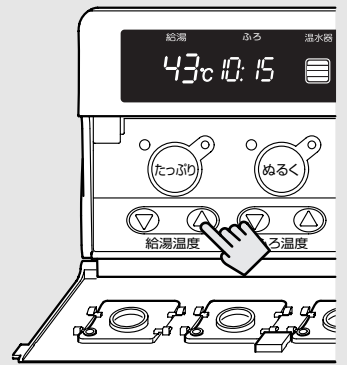
浴室リモコン

例) 給湯温度を43℃に設定する場合

1 リモコンのふたを開ける



2 給湯温度を合わせる

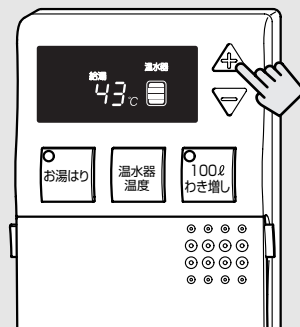


※最初は42℃に設定されています。

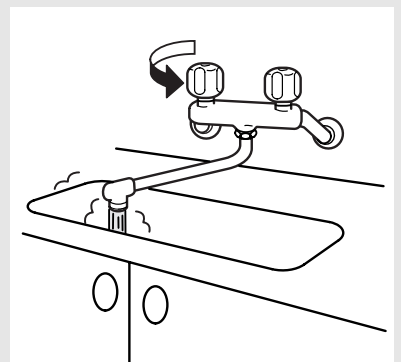
台所リモコン

例) 給湯温度を43℃に設定する場合

1 給湯温度を合わせる



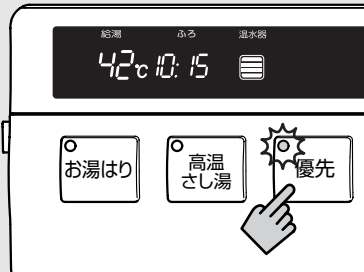
2 給湯栓を開ける



- 時計を表示しているときは▲・▽を押すと給湯温度を表示します。
- 給湯温度を表示しているときに▲・▽スイッチを押してください。
- 温度が変わらないときは浴室リモコンの優先スイッチを切ってから再度操作してください。

- ※画面に表示している給湯温度と給湯栓から出る湯温は、季節及び外気温、施工状態などにより、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- ※給湯栓を開けたとき、給湯配管内の冷水が出てしまうまでご希望のお湯は得られませんが、しばらくすると安定した湯温になります。

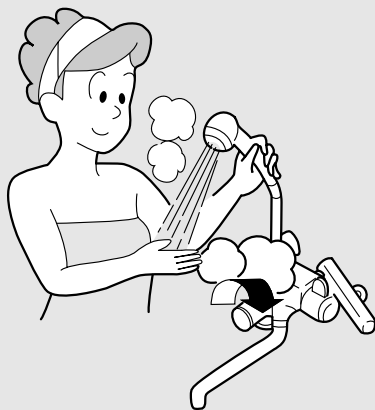
**温度が変わらないとき
優先スイッチを押す**
(19ページ参照)



※優先スイッチが「切」のときは変更できません。

3 給湯栓を開ける

※下記の「お湯の出しかた」を参照ください。



高温警告について

- 給湯設定温度を50℃又は60℃に設定した場合は、やけど注意のためブザーがピピッと鳴り、「給湯温度が高温です 注意してください」と音声でガイドします。

お湯の出しかた

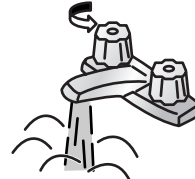
2バルブ混合栓の場合

2バルブ混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調整してください。

①水側を開ける



②湯側を開ける



シングルレバー混合栓の場合

シングルレバー混合栓の場合は、温度調節レバーを水側にして、吐水しながらお湯側にレバーを回し、温度を調整してください。

①水側に回す

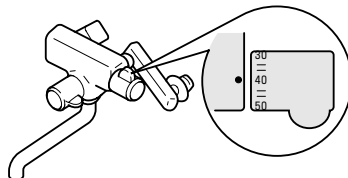


②湯側に回す






サーモスタット付混合栓の場合





サーモスタット付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温(約40℃)付近にしてお湯を出してください。



優先とは

- 浴室リモコンが優先となっているときは、スイッチのランプが点灯しています。その場合は浴室リモコンで給湯温度が変更できます。台所リモコンで給湯温度を変更するときは、浴室リモコンのスイッチを押し台所リモコンを優先にしてください。
- 台所リモコンが優先となっているときは、浴室リモコンのスイッチのランプが消灯しています。

優先スイッチとは

- シャワーを浴びているときに台所リモコンでお湯の設定温度を高くされると、やけどのおそれがあり大変危険です。そのため、浴室リモコンにはスイッチがついています。このスイッチを「入」にしておくと、台所リモコンで温度の変更ができなくなります。スイッチは安全のためのスイッチです。シャワーを浴びるときは必ずスイッチを「入」にしておいてください。

おふろでの便利な機能

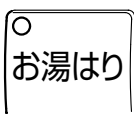


チャイルドロック

・・・浴室リモコンでのスイッチ操作ができなくなります。


 20ページへ

お子様だけの入浴で心配なときにお使いください。



お湯はり

・・・入浴に必要なお湯はり量を設定して使用します。


 21・22ページへ

設定したおふろの温度・お湯はり量まで自動的にお湯はりを行います。



高温さし湯

・・・おふろに約70/90℃のお湯を15ℓ たします。


 23ページへ

入浴中におふろの温度をあつくしたいときにお使いください。



たっぷり

・・・設定した温度のお湯をおふろに約20ℓ たします。

 24ページへ

入浴中にお湯を増やしたいときにお使いください。



ぬるく

・・・お風呂に約10ℓさし水します。

👉 24ページへ

入浴中にお風呂をぬるくしたいときにお使いください。



呼出

・・・浴室リモコンの呼出スイッチを押すと台所リモコンがピーピーピッと鳴ったあと、「お風呂で呼んでいます」と音声流れ、さらに呼び出している間、すべてのランプが同時に点滅してお知らせします。

👉 24ページへ

浴室に人を呼びたいときにお使いください。



入浴予約

・・・台所リモコンで設定した時刻にお湯はりが終わります。

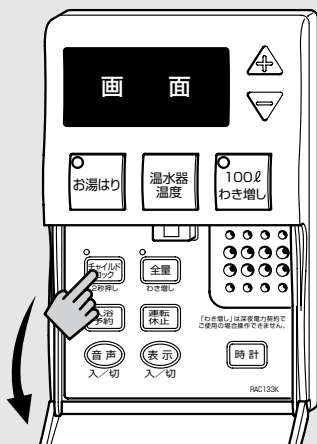
👉 25・26ページへ

外出から帰ってきて、すぐお風呂に入りたいときにお使いください。

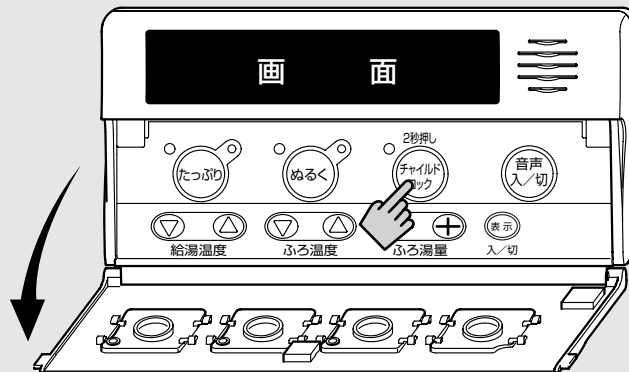
浴室リモコンを操作させたくないとき

チャイルドロックスイッチを「入」にすることにより、浴室リモコンでのスイッチ操作をできなくすることができます。(安全のため **呼出** スイッチのみ操作可能にしています。) お子様だけの入浴で心配なときにお使いください。

台所リモコン



浴室リモコン



お風呂での便利な機能

浴室リモコンを操作させたくないとき

お湯はりをする

お湯はりする前に

- ・浴槽の排水栓とふたを閉めていますか？



しっかり閉めて！

- ・お湯はりの適正量(目安)を確認しましょう！

浴槽の種類	サイズ(mm)	適正量(ℓ)
洋風 サイズ(mm) 約430	1500	約170
	1400	約140
	1200	約110
和洋折衷 サイズ(mm) 約550	1300	約240
	1200	約200
和風 サイズ(mm) 約610	1000	約240
	900	約200

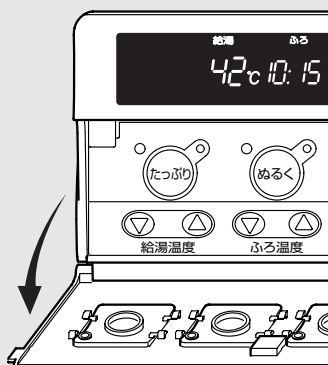
お湯はりする

リモコンでお湯はり湯量を10~500ℓ(10ℓきざみ)、湯温を約35~48℃(1℃きざみ)に調節できます。

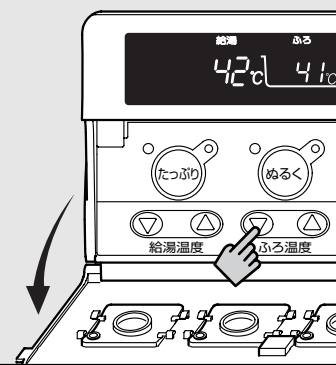
浴室リモコン

例) お湯はり温度を41℃で、お湯はり量170ℓに変更する場合

1 リモコンのふたを開ける



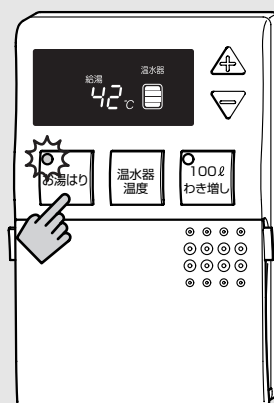
2 ふる温度を合わせる



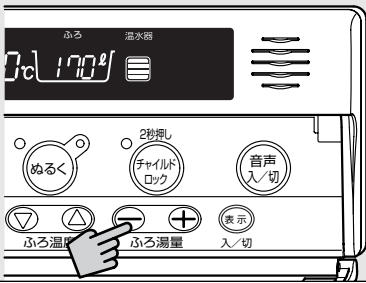
- 最初はふる温度：40℃に設定されています。

台所リモコン

1 お湯はりスイッチを押す

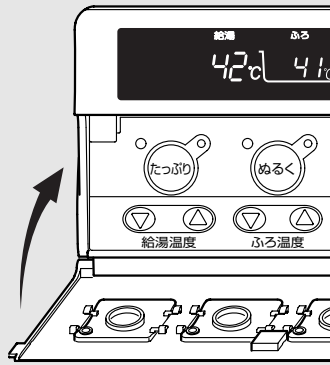


3 お湯はり量を合わせる

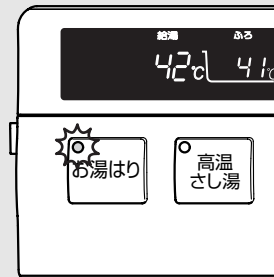


- 湯量・湯温の変更は台所リモコンではできません。浴室リモコンで行ってください。
- 最初はお湯はり量:200ℓに設定されています。

4 リモコンのふたを閉める



5 お湯はりスイッチを押す



- 途中でやめたいときは再度「お湯はり」スイッチを押してください。

ちょっと一言



- 画面に表示しているお湯はり温度は、季節及び外気温、施工状態などにより必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

お湯はりが終わったら

リモコンでお知らせします。

メロディ音のあと、♪「お湯はりが終わりました」と音声流れ、「入浴OK」と表示します。

浴室リモコンでは



台所リモコンでは



- 「入浴OK」表示はお湯はり終了後から約30分間点灯します。

お風呂での操作 (浴室リモコンで操作)

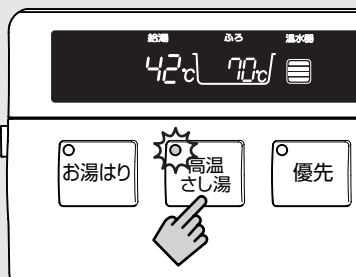
お風呂がぬるいとき

約70℃の高温水15ℓをお風呂に供給してあつくします。

※高温さし湯機能は高温水を供給した後、ふろ配管内にたまった高温の湯を排水するため、お湯はり温度の湯(約2ℓ)を供給し終了します。

お風呂の温度をより高めにしたときは、高温水の温度を90℃に変更して使用することができます。(温水器の湯温が低い場合は設定温度のお湯が出ない場合があります。)

1 高温さし湯スイッチを押す



♪「お風呂にお湯を足します高温に注意してください」と音声流れます

2 高温水の温度を変更する



70℃設定のときふろ温度 ▲ を2秒以上押すと90℃に変わります
※一度終了すると70℃に戻ります。



90℃設定のときふろ温度 ▼ を2秒以上押すと70℃に変わります

警告

- 高温さし湯使用時にはふろアダプタを手や足で触らないでください。
(やけどの原因になります)
- 高温さし湯使用時には浴槽に十分お湯があることを確かめてからご使用ください。
(やけどや破損の原因になります)

※途中で止めたいときはもう一度、高温さし湯スイッチを押して切る。

(注) アクリル製浴槽の場合は、高温さし湯温度は70℃でご使用ください。90℃で高温さし湯すると、浴槽が変色や変形するおそれがあります。

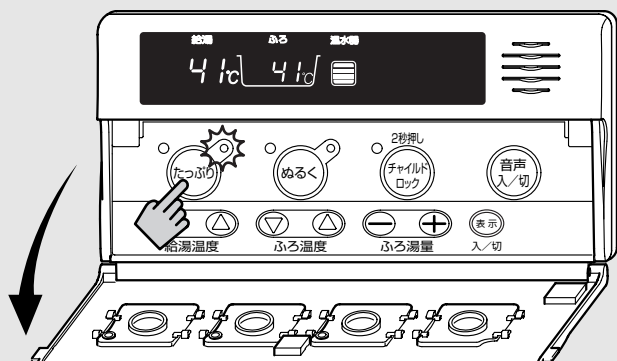
注意

浴槽が空の状態でも高温さし湯を行った場合、危険防止のため、リモコンへコード番号「072」(浴槽残水なし)を表示し、高温水の供給を中断することがあります。再度、お湯はり・高温さし湯、たっぷり、ぬるくを行うには、コード番号を解除(51ページ)し、ふろアダプタが完全に隠れるまで、カラン等にて浴槽に適温のお湯または水を十分はってください。

お風呂のお湯が少ないとき

お風呂のお湯を約20ℓ増やします。

ふたを開けて、たっぷりスイッチを押す



♪「お風呂にお湯を足します」と音声流れます。
●途中で止めたいときはもう一度たっぷりスイッチを押して切る。

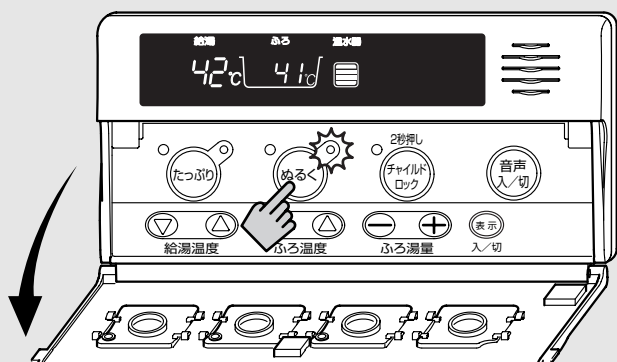
※画面に表示しているふろ設定温度は、配管条件や気温などにより必ずしも一致しません。

・たっぷり開始直後はふろ配管にたまった高温の湯がふろアダプタから出ることがありますのでご注意ください。

お風呂が熱いとき

お風呂に約10ℓさし水します。

ふたを開けて、ぬるくスイッチを押す



♪「お風呂をぬるくします」と音声流れます。
●途中で止めたいときはもう一度ぬるくスイッチを押して切る。

・さし水開始直後はふろ配管にたまった高温の湯がふろアダプタから出ることがありますのでご注意ください。

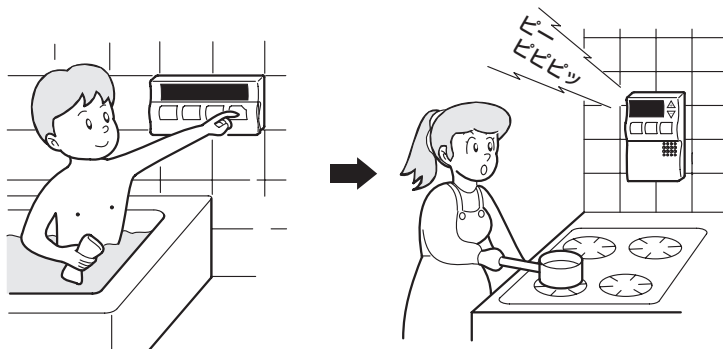
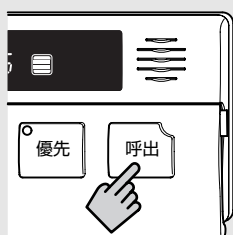
浴室から人を呼びたいときに

【呼出】スイッチを押すと台所リモコンがピーピピッと4回鳴り♪「お風呂で呼んでいます」と3回音声でお知らせします。

●呼び出ししている間、台所リモコンの **お湯はり** **100ℓ わき増し** スwitchのランプが同時に点滅します。

●石けんやシャンプーが切れたときや、気分が悪くなったときに浴室から人を呼びたいときにお使いください。

呼出スイッチを押す

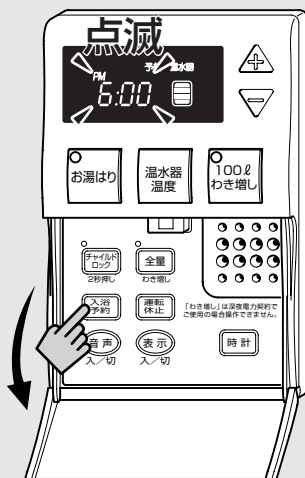


✦ 入浴予約をする (台所リモコンで操作) ✦

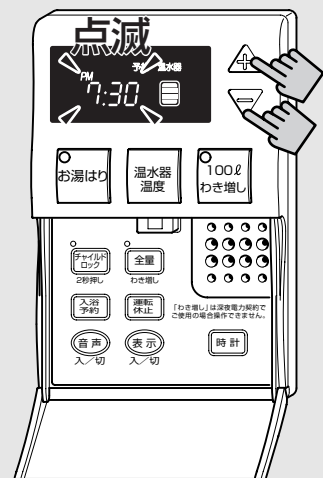
入浴予約すると、設定した時刻までにお湯はりを完了し、予約時刻になると、音声でお知らせします。また、21ページの「お湯はりする前に」を確認してから予約をセットしてください。21・22ページを見てふる温度、お湯はり量を浴室リモコンで設定しておいてください。


例) 午後7時30分にお風呂に入りたいとき

1 ふたを開け スイッチを押す





2 スイッチで予約時刻を合わせる



♪「 スイッチで時刻を設定して再度押してください」と音声がかかります。

予約時刻を合わせるとき


 スイッチを押してから約25秒間  スイッチにさわらなければ現在時刻または給湯温度の表示に戻ります。そのときは、最初からやり直してください。


最初はPM6:00に設定されています。

入浴予約中は、予約時刻の変更はできません。いったん入浴予約スイッチを押して、入浴予約を解除してください。


スイッチは


● 1回押すと

 1分単位ですすみす

 1分単位でもどります

● 押したままにすると

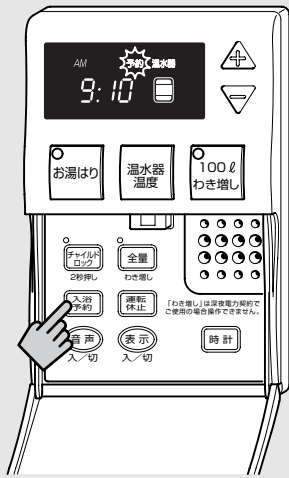
 30分単位ですすみす

 30分単位でもどります


※お湯はり・たっぶり・ぬるく・高温さし湯の使用および運転休止中には、入浴予約は設定できません。

※入浴予約は浴室リモコンではできません。






3 再度 スイッチを押すと入浴予約がセットされます



♪「セットされました おふろの栓はしましたか」と音声がかかります。

- 入浴予約を解除したい場合は再度  スイッチを押す。

予約開始時刻前に

-      のいずれかのスイッチを押しても予約が解除され、予約の文字が消灯します。

- 入浴予約時刻になると「入浴OK」が表示されます。

(ただし、予約時刻にお湯はりが完了しない場合はお湯はり完了後に表示されます)



台所リモコン表示



浴室リモコン表示

ちょっと一言

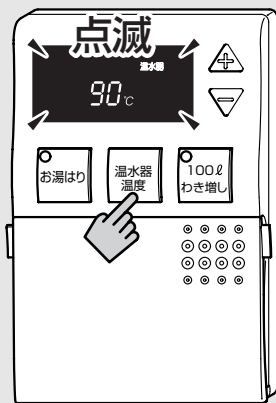




- 現在時刻から入浴予約時刻の間が短いときは予約時刻にお湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻と入浴時刻が同日で、かつ現在時刻よりも前に予約時刻を設定したときは翌日の予約時刻に合わせてお湯はりが完了します。

✦ わき上げ温度設定のしかた ✦

温水器タンク内のお湯のわき上げ温度を設定することができます。
夜間のわき上げ、昼間のわき増しは、設定された温度にわき上がります。

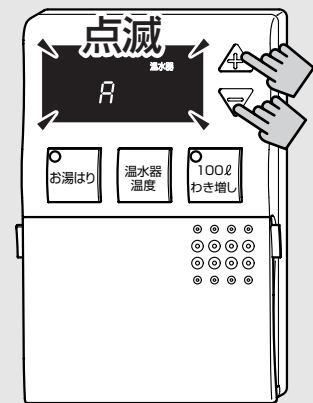
1 スイッチを押す



♪「  (プラス、マイナス)スイッチで設定して再度押してください」と音声がかかります。

2 スイッチを押しわき上げ温度を合わせる

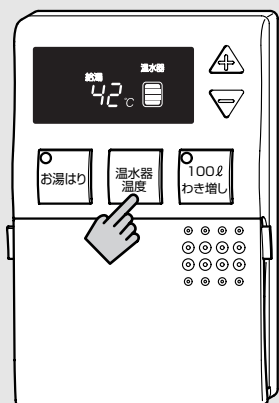
〔90・80・70・A(自動)から選択できます。〕



※90℃……約90℃までわき上げます。
80℃……約80℃までわき上げます。
70℃……約70℃までわき上げます。
A(自動) …お湯の使用状況に応じて温水器がわき上げ温度を90・80・70℃から自動的に選択してわき上げます。

お買い上げ時は90℃に設定されています。

3 再度 スイッチを押す。



♪「変更されました」と音声流れます。
(温度を変更しない場合は、音声は流れません。)


ちょっと一言

- お湯をたくさん使用するとき(冬期など)は、高めに設定するとより多くのお湯が使えます。
- 短期間にお湯の使用量が大きく変動する場合は、90°C設定で使用されることをおすすめします。
- タンク内の水温が低い場合は設定温度までわかき上がらない場合があります。

A (自動) 設定のとき、わかき上げ温度の確認のしかた

① 上記操作手順の2でA (自動) に合わせる。



②  スイッチを2秒間押し続けると現在のわかき上げ温度を表示します。



のとき90°C




のとき80°C



のとき70°C

設定に
なっています

③ 確認終了後  スイッチを押してください。

※約25秒間操作されないと、わかき上げ温度が確定されます。

※再度わかき上げ温度を変更したいときは上記操作手順の1～3をくり返してください。

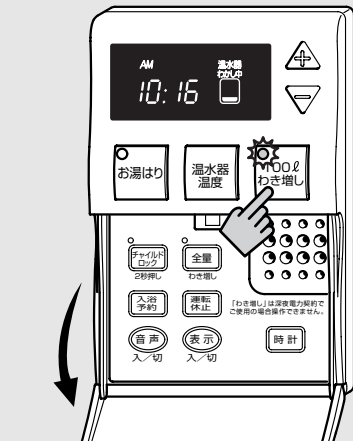
お湯をたくさん使う (台所リモコンで操作)

(時間帯別電灯契約のみ)


お湯が不足しそうなときは、昼間でもタンク内の水をわかすことができます。

100ℓわき増しする


100ℓわき増し スイッチを押す



♪「セットされました」と音声流れ
ます。

- 温水器タンク内のお湯が約100ℓ以下になる毎に、上部ヒータが作動し、常に設定温度のお湯を約100ℓ確保する機能です。
- 通常のお湯の使用状態で湯切れを防止したいときにおすすめです。
- ヒータが作動すると画面に「わかし中」が表示されます。
- 途中で解除するときは、再度  スイッチを押してください。

ランプが消灯し♪「解除されました」と音声流れ

※100ℓわき増し機能は、毎日継続か当日限りのどちらかに設定することができます。( 34ページ参照)

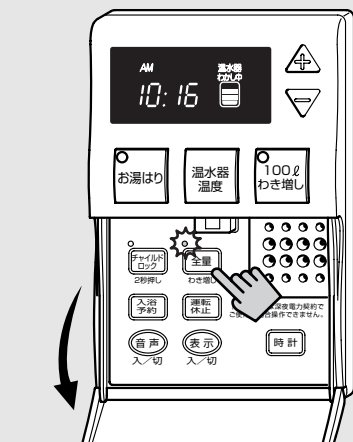
最初は継続に設定されています。当日限りの場合は、PM11:00になると自動的に解除します。

(解除時刻は電灯契約内容により異なります。)


全量わき増しをする

ふたを開け

全量 スイッチを押す



♪「セットされました」と音声流れ
ます。

- お湯を約70ℓ (RE5614Uは約110ℓ)以上使用する毎に下部ヒータが作動し温水器タンク内を設定温度のお湯でいっぱいにしておく機能です。
- ヒータが作動すると画面に「わかし中」と表示されます。
- 途中で解除するときは、再度  スイッチを押してください。ランプが消灯し♪「解除されました」と音声流れ
- 全量わき増し機能をセットしている場合は、PM11:00になると自動的に解除します。(解除時刻は、電灯契約内容により異なります。)

※深夜通電時間帯以降に、全量スイッチを「入」にしても夜間のわき上げが完了するまで全量わき増し機能は作動しません。

● 来客などで、たくさんのお湯が必要になると予想できるときなどにおすすめです。

● 100ℓわき増し機能と全量わき増し機能を両方セットしている場合は全量わき増し機能が優先してヒータの作動を行います。

※全量わき増し機能はスイッチを「入」のままにしても当日限りとなります。

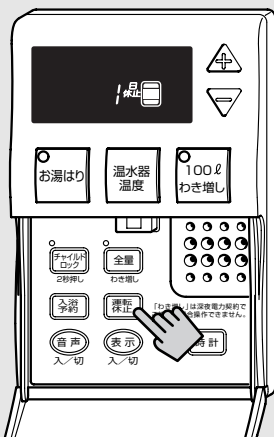
PM11:00になると自動的に解除し、ランプが消灯します。(解除時刻は電灯契約内容により異なります。)

❖ 運転を休止する (台所リモコンで操作) ❖

留守中にむだなわき上げをしないように、1～14日の間で運転を休止させることができます。

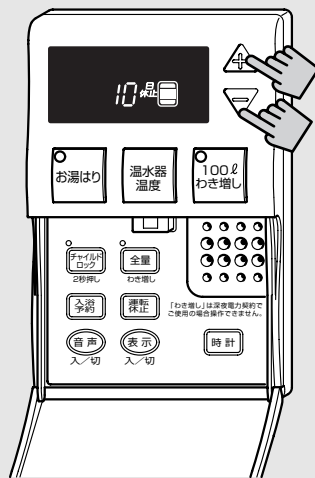
2泊以上旅行などで留守にするときに便利です。

1 ふたを開けて 運転休止スイッチ押す

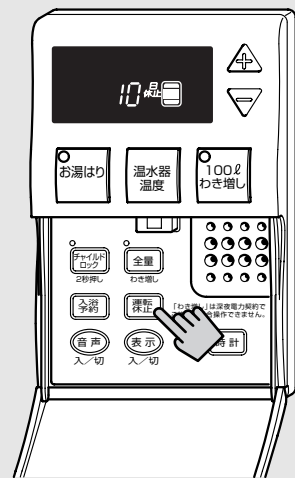


♪「▲▼(プラス、マイナス)スイッチで設定して再度押してください」と音声がかかります

2 ▲▼スイッチで 日数を設定します



3 再度 運転休止 を押し 設定した日数だけ 運転を休止します



♪「セットされました」と音声がかかります

- 表示部は1日ごとに休止日数を減らしていきます。(AM7:00<地域によってはAM6:00またはAM8:00>に表示日数が変更されます。)
- 設定した休止日数が0日になると、運転を再開します。
- 運転休止途中で運転を再開したいときは、再度 **運転休止** スイッチを押してください。
♪「解除されました」と音声がかかります。
- 運転休止機能をセットすると100ℓ/全量わかまし機能は解除されます。再度セットしたい場合は運転再開後に行ってください。
- 運転休止中に現在時刻の設定や入浴予約のセットはできません。
いったん、運転休止スイッチを押して、解除してください。

ちょっと一言



運転休止設定日数の計算のしかた

- 外泊日数から1日引いた日数を設定すれば、帰宅した日からお湯が使えます。

例) 3泊4日の場合

$$3 - 1 = 2$$

2日休止で設定します。

早見表

宿泊日数	休止設定日数
1泊	休止する必要がありません
2泊	1日
3泊	2日
⋮	⋮
15泊	14日


お湯をたくさん使う

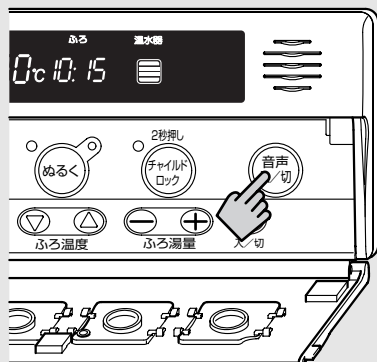
運転を休止する

✦ 音声ガイドを消したいとき ✦


リモコンには、おふろがわき上がったときや操作をしたときなどに音声でお知らせするガイド機能を備えています。この音声ガイドが不要であれば、操作したリモコンのみ消すことができます。

浴室リモコンの場合


ふたを開け 
スイッチを押す




台所リモコンの場合

ふたを開け 
スイッチを押す



-  スイッチを押すと、♪「音声によるガイド機能が一部解除されました」と音声流れます。

解除した音声を再び出したいときは

再び  スイッチを押すと、♪「音声によるガイド機能がセットされました」と音声流れます。

※一部解除できない音声ガイドがあります。

音量ガイド

(例)
「大きめです。」

故障ガイド

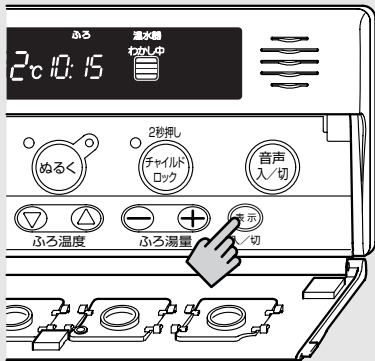
(例)
♪「診断が必要です。使用を中止して
東陶メンテナンス0120-1010-05にご連絡ください。」
(お取付店の電話番号が登録されている場合もあります。)

画面表示を消したいとき

リモコンの画面表示を消したいときは、操作したリモコンのみ消すことができます。

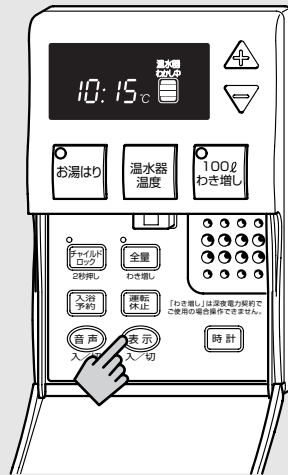
浴室リモコンの場合

ふたを開け (表示) スイッチを押す



台所リモコンの場合

ふたを開け (表示) スイッチを押す



●お湯を使用しているときやおふろの運転をしているときなどは消すことはできません。

消した画面表示を再び表示させたいときは

画面表示が消えているときに再び (表示) スイッチを押すと表示します。

※画面を消していても表示を点灯させる場合があります。

お湯を使用した場合

給湯温度を確認するために点灯します。お湯の使用後、数分たつと消灯します。

スイッチを操作した場合

操作後、数分間点灯します。

おふろの運転中

お湯はり、高温さし湯、たっぶり、ぬるくを行っているときは点灯します。
(台所リモコンはお湯はりのみです。)

故障した場合

温水器にエラーが発生した場合、故障コードを表示します。

給湯温度が高温の場合：給湯設定温度が50℃、60℃のときは「高温」の表示が点灯します。

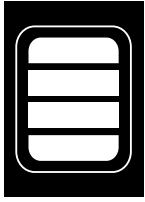
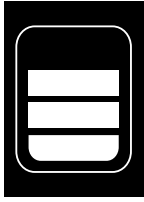
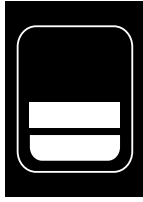
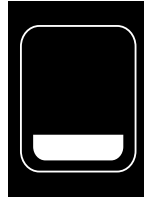
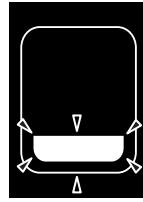
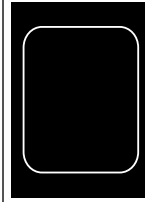
音声ガイドを消したいとき

画面表示を消したいとき

✦ 温水器のお湯の量を確認する ✦

台所リモコン、浴室リモコンに温水器の湯量を表示して確認できるようにしています。

湯量の見方



湯量※	RE5614U	約450ℓ以上	約180ℓ以上	約110ℓ以上	約60ℓ以上	約60ℓ未満	0ℓ
	RE4614/RE4614U	約390ℓ以上	約150ℓ以上	約100ℓ以上	約50ℓ以上	約50ℓ未満	
	RE3714/RE3714U	約300ℓ以上					
表示							
	点灯	点灯	点灯	点灯	点滅		

※45℃以上のお湯の量

- 温水器内のお湯の量が約50ℓ未満 (RE3714・RE3714U・RE4614・RE4614Uの場合)、および約60ℓ未満 (RE5614Uの場合) になるとバー表示が点滅してお知らせします。
- 温水器内のお湯の量が0ℓ になるとバー表示が全て消えます。



✦ そのほかにリモコンでできること ✦

音声ガイドなどの音量を変える

浴室リモコン  35ページ
台所リモコン  37ページ

- 音声ガイドとブザー、メロディの音量を3段階に調節できます。

画面の明るさを変える

浴室リモコン  35ページ
台所リモコン  37ページ


- リモコン画面の明るさを3段階に調節できます。

100ℓ わき増し機能を当日限りにする

台所リモコンのみ  37ページ
変更できます。

- 100ℓ わき増し機能「入」のとき毎日継続か当日限りに切替えることができます。

アフターサービスの連絡先の確認

台所リモコンのみ  37ページ
確認できます。

- アフターサービスに関する連絡先の電話番号が音声で確認できます。
(お取付店の電話番号が登録されている場合もあります。)

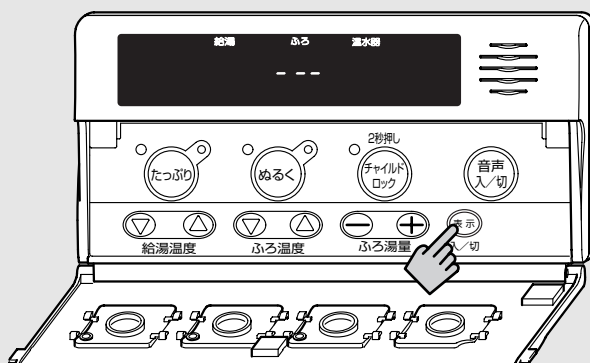
✦ そのほかにリモコンでできること ✦

■ 浴室リモコンの設定変更

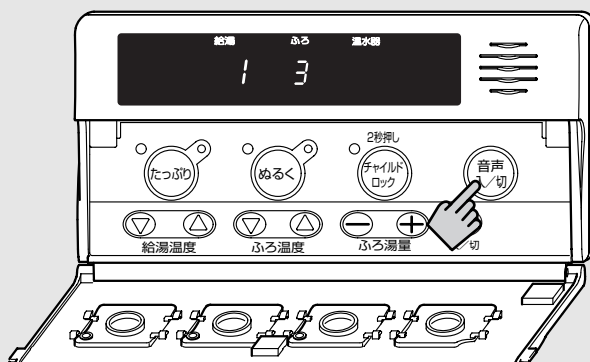
※ お湯を使用しているときやおふろの運転中は操作できません。

安全のため設定変更中は、お湯の使用や他のリモコンからの運転操作はしないでください。

1 ふたを開けて スイッチを2秒以上押す

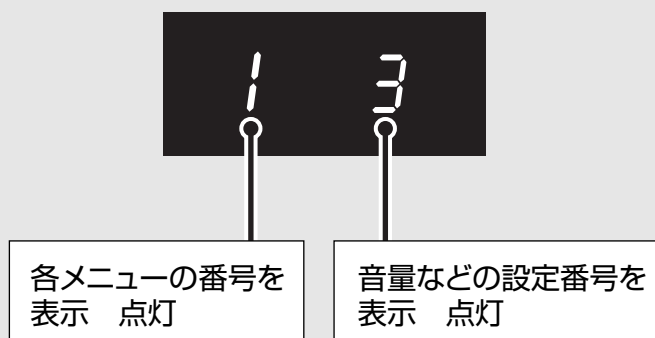



2 つぎに スイッチを押して設定モードにします





画面に各メニュー番号と設定番号を表示します。

例) 画面の明るさ「明」設定のとき



	<p>3  スイッチで メニュー番号を設定する (画面左側の数字)</p>	<p>4   ふろ湯量スイッチで 設定値を変更する (画面右側の数字) 最初は <input type="text"/> に設定してあります。</p>								
<p>音量</p>	<p>「1」にします。 音量設定メニュー点灯</p> 	<p>音量の設定をします。 変更すると音声で設定音量をお知らせします。</p> <table border="1" data-bbox="893 694 1348 840"> <tr> <td>リモコン表示</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音の大きさ</td> <td>大</td> <td>中</td> <td>小</td> </tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	音の大きさ	大	中	小
リモコン表示	3	2	1							
音の大きさ	大	中	小							
<p>画面の明るさ</p>	<p>「2」にします。 画面の明るさ設定のメニュー点灯</p> 	<p>画面の明るさを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="893 996 1348 1142"> <tr> <td>リモコン表示</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>明るさ</td> <td>明</td> <td>中</td> <td>暗</td> </tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	明るさ	明	中	暗
リモコン表示	3	2	1							
明るさ	明	中	暗							

5 設定が完了すれば再度  スイッチを押す
または約5分以上放置する。
通常モードに戻ります。



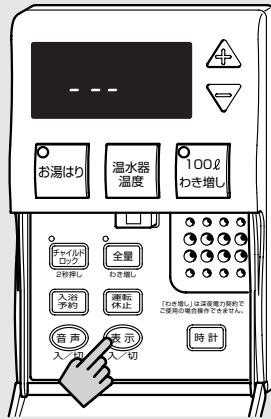
✦ そのほかにリモコンでできること ✦

■ 台所リモコンの設定変更

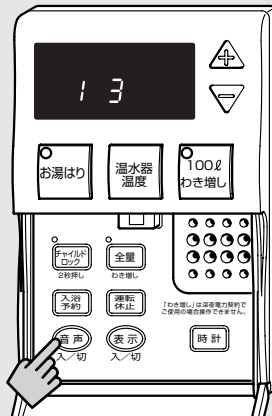
※ お湯を使用しているときやおふろの運転中は操作できません。

安全のため設定変更中は、お湯の使用や他のリモコンからの運転操作はしないでください。

1 ふたを開けて スイッチを2秒以上押す



2 つぎに スイッチを押して設定モードにします



画面に各メニュー番号と設定番号を表示します。

例) 画面の明るさ「明」設定のとき



各メニューの番号を表示

画面の明るさなどの設定番号を表示

	<p>3  スイッチで メニュー番号を設定する (画面左側の数字)</p>	<p>4  スイッチで設定値を 変更する (画面右側の数字) 最初は <input type="text"/> に設定してあります。</p>								
音 量	<p>「1」にします。 音量設定メニュー点灯</p> 	<p>音量の設定をします。</p> <table border="1" data-bbox="893 672 1348 772"> <tr> <td>リモコン表示</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音の大きさ</td> <td>大</td> <td>中</td> <td>小</td> </tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	音の大きさ	大	中	小
リモコン表示	3	2	1							
音の大きさ	大	中	小							
画面の 明るさ	<p>「2」にします。 画面の明るさ設定のメニュー点灯</p> 	<p>画面の明るさを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="893 952 1348 1041"> <tr> <td>リモコン表示</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>明るさ</td> <td>明</td> <td>中</td> <td>暗</td> </tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	明るさ	明	中	暗
リモコン表示	3	2	1							
明るさ	明	中	暗							
100ℓ わき増し機能	<p>「3」にします。 100ℓわき増し機能のモード切替メニュー点灯</p> 	<p>100ℓわき増し機能を継続か当日限りに するかを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="893 1243 1292 1332"> <tr> <td>リモコン表示</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>モード</td> <td>継続</td> <td>当日限り</td> </tr> </table>	リモコン表示	1	0	モード	継続	当日限り		
リモコン表示	1	0								
モード	継続	当日限り								
連絡先 確認	<p>「4」にします。 連絡先メニュー点滅</p> 	<p>アフターサービスに関する連絡先の電話 番号が音声で確認できます。 (お取扱店の電話番号が登録されている 場合があります。)</p>								

5 設定が完了すれば再度  スイッチを押す
または約5分以上放置する。
通常モードに戻ります。



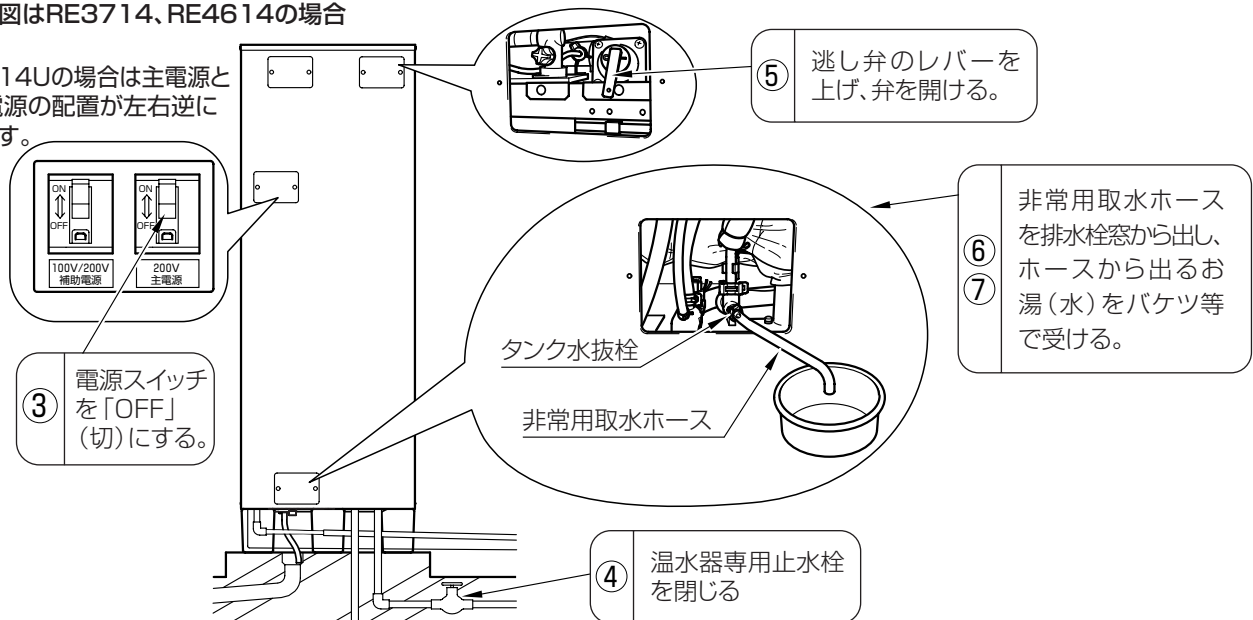
✦ 断水するときなどにお湯を取り出す ✦

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。

- ① お湯(水)を受けるバケツ等を準備してください。
- ② 逃し弁、電源スイッチ、排水栓の点検窓(3つ)のカバーを外します。(☞7ページ参照)
- ③ 本体の電源スイッチ(200V主電源)を「OFF」(切)にします。
※深夜電力契約の場合は補助電源スイッチ(100V/200V補助電源)も「OFF」(切)にします。
- ④ 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます。(逃し弁開)
- ⑥ タンク水抜栓についている非常用取水ホースを排水栓窓から出します。
※非常用取水ホースがタンク水抜栓から抜けないように注意してください。
- ⑦ タンク水抜栓を回して、お湯(水)を取り出します。
ホースから出るお湯(水)をバケツ等で受けてください。
※タンク水抜栓はゆっくり回して湯(水)が出てくる位置で止め、外れないようにしてください。外れると勢いよくお湯が吹き出し、やけどのおそれがあります。
※取水中、タンク水抜栓と非常用取水ホースは熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
- ⑧ 取水が終わったらタンク水抜栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。(逃し弁閉)
※再給水するときは、「使用前の準備」(☞13・14ページ参照)にしたがって行ってください。

※図はRE3714、RE4614の場合

※RE5614Uの場合は主電源と補助電源の配置が左右逆になります。



⚠ 警告

■やけどに注意

取水時は、やけどに注意してください。
取水中、急に熱湯(最高約90℃)が出る場合があります。



高温注意

定期的な点検

⚠ 注意



必ず実行

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

点検の際のご注意

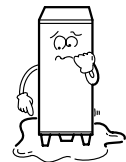
- 機器の前面カバーは外さないでください。
- まわりにガス・灯油類や引火物はありますか？



危険なものや不要なものは取除いてください。

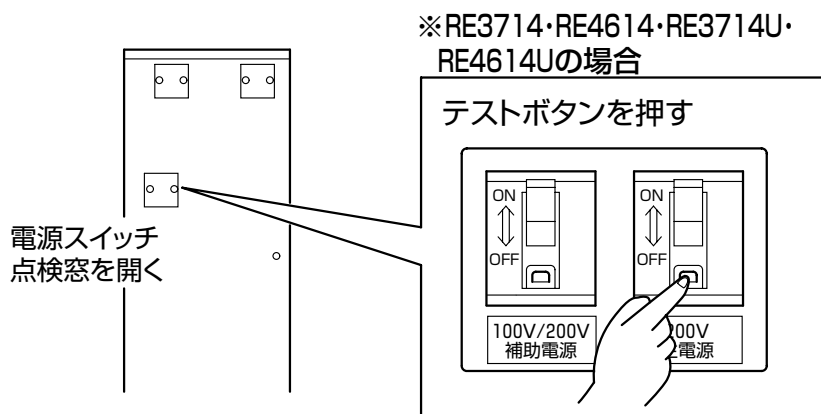
本体の水漏れ確認（1日1回）

- 電気温水器を設置した床面など周辺に水が漏れてないか確認する。（特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。）
漏水をしている場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス（株）☎0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。



電源スイッチ（漏電遮断器）の動作確認（月1回）

- 月に一度、電源スイッチのテストボタンを押して動作確認をしてください。
通電時間帯に電源スイッチ（200V主電源）のテストボタンを押すと「ON」（入）→「OFF」（切）になれば正常です。（漏電のときには感電の原因になります。）
テストボタンを押しても「切」（OFF）にならない場合は、お取付け店又は東陶メンテナンス（株）☎0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。
また確認後は、必ず「ON」（入）に戻してください。
- ※ 深夜電力契約の場合は、補助電源スイッチ（100V/200V補助電源）も動作確認してください。



※RE5614Uの場合は主電源と補助電源の配置が左右逆になります。

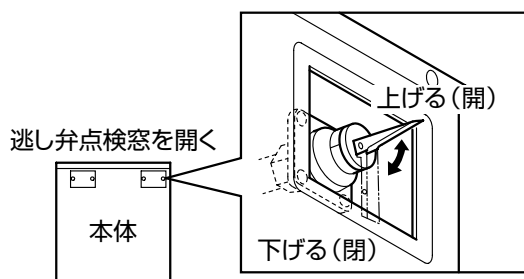
断水するときなどにお湯を取り出す

定期的な点検

定期的な点検

逃し弁の動作確認(月1回)

- 月に一度、逃し弁のレバーを2～3回上げ下げして必ず動作確認をしてください。レバーを上げた時に排水口より排水し、下げた時に排水が止まれば正常です。(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。) 逃し弁が作動しない場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05(フリーダイヤル)にご連絡ください。



日常のお手入れ

リモコン・機器外装の手入れ(月1回)

- かたく絞った布でふいてください。汚れがひどいときは適当にうすめた中性洗剤をふくませた布でふいてください。
※酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは割れの原因になりますので使用しないでください。



- 台所リモコンは絶対に水をかけないでください。(台所リモコンは防水されていません。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。特にスピーカ部は勢いよく水をかけると故障の原因になりますので注意してください。)



- リモコンは絶対に分解しないでください。また、スピーカ部をブラシなどでこすったり、つついたりしないでください。故障の原因になります。



分解禁止

❖ 日常のお手入れ ❖

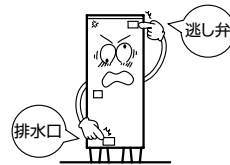
タンクの手入れ(月1回)

- 月に一回程度タンクの下部にたまった汚れを排水してください。(👉 45ページ)
 - ① タンク下部の温度を下げるために、バケツ1杯分のお湯を使用してください。
 - ② 本体の前面カバーの逃し弁、漏電遮断器、排水栓の点検窓(3つ)を取り外します。
 - ③ 温水器専用の止水栓を閉じます。
 - ④ 本体の電源スイッチ(200V主電源)のレバーを「OFF」(切)にします。
※深夜電力契約の場合は、補助電源スイッチ(100V/200V補助電源)のレバーも「OFF」(切)にします。
 - ⑤ 逃し弁のレバーを上げます(逃し弁開)。
 - ⑥ 排水栓を開きます。
 - ⑦ 汚れた水がきれいな水に変わったら排水栓を閉じます。
 - ⑧ 排水が終わったら、温水器の専用止水栓を開きます。
 - ⑨ 逃し弁排水口から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます(逃し弁閉)。
 - ⑩ ④で「OFF」(切)にした電源スイッチのレバーを「ON」(入)にします。
 - ⑪ ②で外した前面カバーの点検窓(3つ)を取付けます。

⚠ 警告

■ やけどに注意

- 逃し弁の動作確認時および排水中は、逃し弁と排水口に手を触れないでください。(やけどのおそれがあります。)
- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



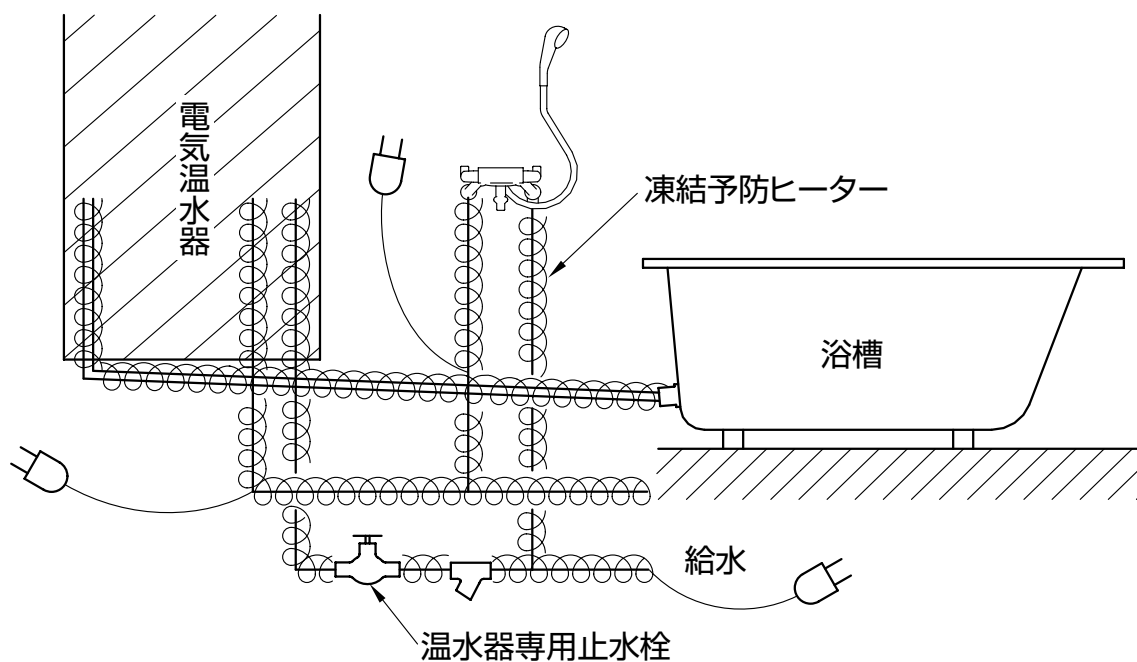
ちょっと一言



- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常にお湯が流れて、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は、水からお湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
- 逃し弁が正常に動作しないと、タンクが破損し、水漏れや故障の原因になります。
- タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。湯切れの心配があります。

❖ 凍結による破損を予防するには ❖

- 冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりではなく、水漏れなどの原因になることがあります。
 - 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
- ※ 給水・給湯・ふろ配管の凍結予防のため、各配管には保温材や電気ヒーター等を巻くなどの保温処置が必要です。保温処置がされているか確認してください。
- 凍結予防ヒーターが図のように給水管・出湯管・ふろ配管別々に巻かれているかを確認してください。
 - 凍結予防ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込んでください。
 - 凍結しない季節は安全のためコンセントからヒーターのプラグを抜いてください。



凍結のおそれがあり、長期間使用しないとき

- 凍結のおそれがあり、長期間使用しないときは機器の水を抜いて凍結予防を行ってください。
 - 水抜き方法は、「排水のしかた」(45・46ページ)の手順で行ってください。
- ※ 再給水する場合は、「使用前の準備」(13ページ)の手順で行ってください。

※ こんなときは ※

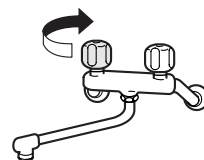
機器を移設されるときは

⚠ 注意

増改築などのため機器を移設される場合は工事や調整に専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店又はお取付店にご相談ください。

停電のときは

- 停電中はご使用できません。
給湯栓を閉めて通電されるのをお待ちください。
温水器内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。
- また、時刻のバックアップ電池が切れた場合、台所リモコンの時刻表示が(-:--点滅)になります。
その場合は15ページ「時計を合わせる」をご参照の上、時刻を再設定してください。



断水のときは

- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。(☞ 39ページ)

短期間お使いにならないとき

- ブレーカ及び本体の電源スイッチのレバーを必ず「OFF」(切)にしてから温水器専用止水栓を閉じてください。(☞ 7・8ページ)
- 再びご使用になるときは、タンク内の水を取り換えることをおすすめします。
運転を休止させることができます。(☞ 30ページ)

長期間お使いにならないとき

- 1ヵ月以上使用しないときは、ブレーカー及び本体の電源スイッチのレバーを必ず「OFF」(切)にしてからタンクの排水をしてください。(☞ 7・8ページ)
排水のしかたは、45・46ページ「長期間お使いにならないとき(排水のしかた)」をご覧ください。
- 再びご使用になるときは、13ページ「使用前の準備」をご覧ください。

テレビやラジオに雑音が入るときは


テレビやラジオを使用中に映像の乱れや雑音が入ることがあります。
また、テレビやラジオは機器本体と離れた場所でご使用ください。

※ こんなときは ※

長期間お使いにならないとき（排水のしかた）

- 長期間使用しない場合は凍結のおそれがありますので、排水してください。
（通常の排水は42ページの「タンクの手入れ」をご覧ください。）

〔排水手順46ページ参照〕

- ① タンク内の温度を下げるため、お風呂などに給湯してお湯を使い切ってください。
- ② 浴槽の水を排水します。
- ③ 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ④ 本体の前面カバーの点検窓（4つ）をすべて 取り外します。（ 7ページ）
- ⑤ 浴室リモコンの「たっぷり」スイッチを押し（ON）、30秒程度待ち、再度「たっぷり」スイッチを押し（OFF）。
- ⑥ 本体の電源スイッチ（200V主電源）のレバーを「OFF」（切）にします。
※深夜電力契約の場合は、補助電源スイッチ（100V/200V補助電源）のレバーも「OFF」（切）にしてください。
- ⑦ タンク排水栓を開けます。（排水口より排水が始まります。）
- ⑧ 本体上部右側の給湯吸気栓を取り外し、約1分後に排水チューブ（赤テープ付の透明チューブ）を引出し、折り曲げて洗濯ばさみ等でつかみ、約1分間閉塞します。
※閉塞後、排水チューブをしまい込む際は、排水チューブが凍結予防ヒータ（白）に接触しないように注意してください。
- ⑨ 本体上部左側のふろ吸気栓を取り外し、約1分後に逃し弁のレバーを上げます。（逃し弁開）
- ⑩（約40～50分で水が抜けます。）
- ⑪ 水が抜け終わった後、最後に、タンク水抜栓（非常用取水ホース付）を取り外します。
逃し弁のレバーを下げ（逃し弁閉）、⑧⑨⑩で外した給湯吸気栓、ふろ吸気栓、タンク水抜栓（3つ）を取り付けます。（タンク排水栓は、再給水するまで開けておきます。）
- ⑫ ④で外した前面カバーの点検窓（4つ）を取り付けます。

⚠ 注意

■排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。

（排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。）



必ず実行

⚠ 警告

■やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）

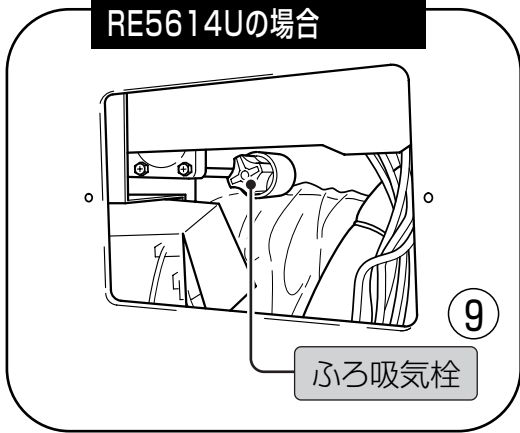


禁止

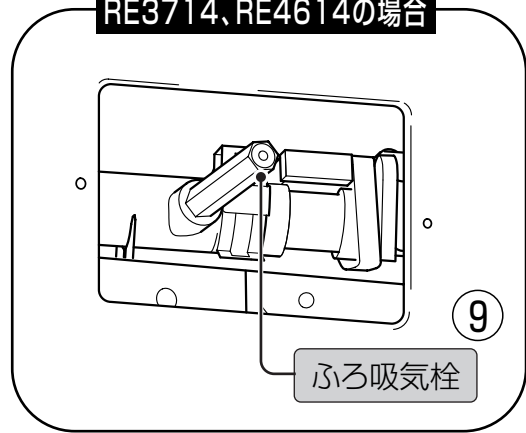
再給水のしかた

- 再給水を行う場合は、13・14ページの「使用前の準備」をご覧ください。

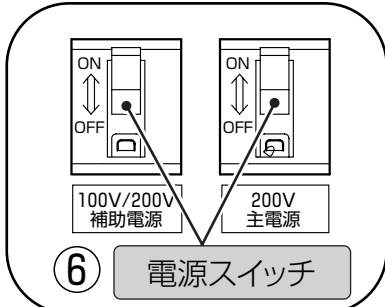
RE3714U、RE4614U、
RE5614Uの場合



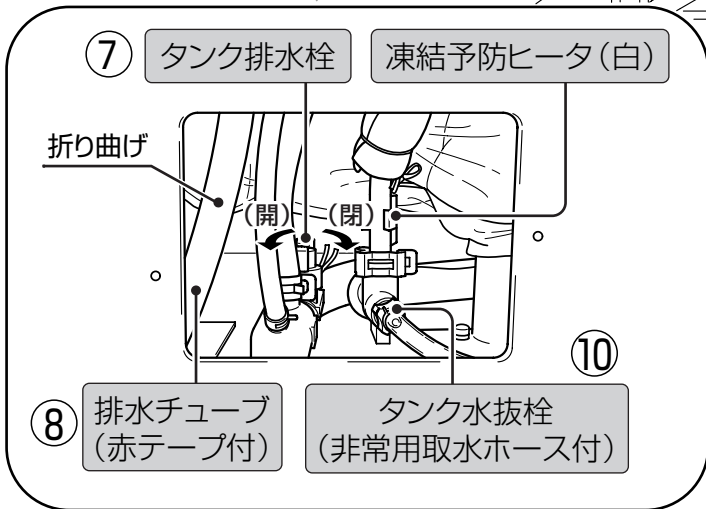
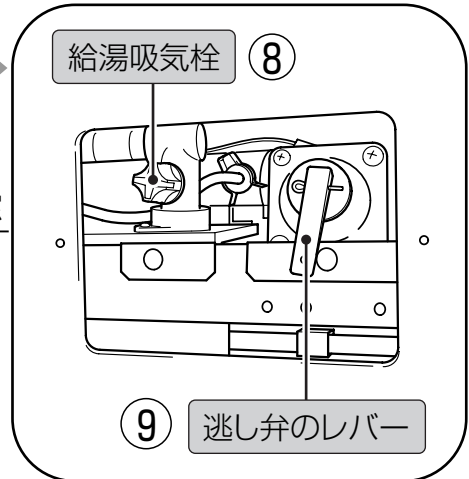
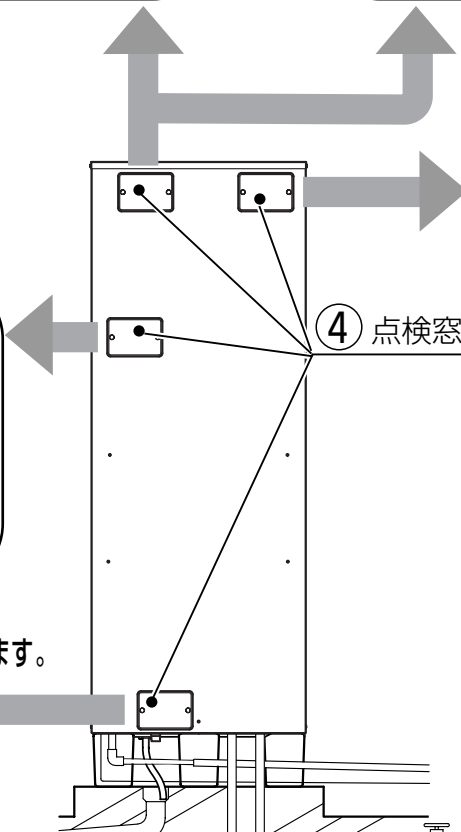
RE3714、RE4614の場合



※図はRE3714、RE4614、
RE3714U、RE4614Uの場合



※RE5614Uの場合は、主電源と
補助電源の配置が左右逆になります。



③ 止水栓

※排水チューブをしまい込む際は
ヒータに接触しないように注意
してください。

こんなときは

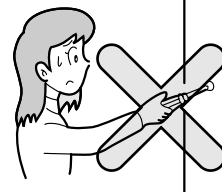
故障かな?と思ったら

⚠ 注意






分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、感電の原因になります)








修理を依頼される前に

こ ん な と き	理 由	
お湯に関すること	お湯が白く濁ってみえる。	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
	お湯から油や臭いが出る。	初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出てくる場合がありますが、数日使用すると消えます。
	急にお湯の出が悪くなった。	他の給湯栓と同時に使用していませんか。
	お湯の出が遅い。	機器本体から給湯栓までの距離があれば少し時間がかかります。
リモコン	リモコンは、温度表示等を見やすくするため、蛍光表示管を使用しています。そのため、温度が高くなりますが、異常ではありません。	
機器に関すること	機器の排水口からお湯が出る。	お湯を沸かし上げる際にタンクの圧力が高くなり逃し弁からお湯(膨張水)が出ますが異常ではありません。
	給湯栓を閉めたときやお湯はり終了したときに衝撃音がある。	給湯栓を急閉止したときやお湯はり弁を開閉するときに、水圧によって発生する音です。
	使用中にモータ音がある。	湯温を調節するため、機器内のモータが回っている音です。
	給水・給湯配管に水滴が付着する。	外気温に対して水温が低い場合、空気中の水分が結露して付着します。
お風呂に関すること	浴槽の水が青く見える。	水質によっては、機器の設置後まもなくして発生することがあります。これは、銅パイプの銅イオンが溶出して青く見えるもので、人体には無害なものです。浴槽に付着しないようこまめに掃除をしてください。
	入浴予約した時刻になってもお湯はりが終わっていない。	入浴予約は予約時刻の1時間前までに設定しないと、お湯はりの終了が遅れることがあります。

こ ん な と き	お調べいただきたいこと	していただきたいこと	
お湯に関するお問い合わせ	お湯が出ない。	温水器専用止水栓は開いていますか。	閉じていたら、開いてください。
		断水ではありませんか。	水道局へお問い合わせください。 断水が終わるまでお待ちください。
		配管部が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。 凍結予防ヒータを巻いてください。
	お湯の出が少ない。	給湯栓は十分に開いていますか。	十分に開いてください。
		他の給湯栓と同時に使用していませんか。	複数の箇所で給湯を同時使用すると、 お湯の出が悪くなる場合があります。
	お湯の出が悪い。	温水器専用止水栓は十分に開いていますか。	十分に開いてください。
	お湯がわかない。	リモコンの時刻表示が --- で点滅していませんか。 (時間帯別電灯契約の場合)	時間帯電灯契約の場合は時刻の設定をしてください。  15ページ
		リモコンで運転休止が設定されていませんか。	運転の休止を解除してください。  30ページ
		ブレーカー又は、本体の電源スイッチが「OFF」(切)になっていませんか。	「OFF」(切)になっているときは、「ON」(入)にしてください。 ※2度、3度と「OFF」(切)になる場合は漏電のおそれがありますので、お取付け店又は東陶メンテナンス(株)  0120-1010-05(フリーダイヤル)にご連絡ください。
		電力計が動いていますか。 (午後11時～午前7時の間) 地域により一部異なります。	
		リモコンの時計は合っていますか。	時計を現在時刻に合わせてください。  15ページ 夜間 ではわき増しはできません。
	お湯がぬるい。 お湯が足りない。	深夜電力の通電時間帯にお湯をたくさん使用していませんか。	翌朝までお待ちいただくか、時間帯別電灯契約にてご使用のお客様はわき増しを行ってください。  29ページ
		いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
		タンクへの給水温度が低温ではありませんか。	温水器の残湯量が少なく、給水温が5℃以下では90℃までわき上がらないことがあります。
		逃し弁の排水口から昼間もお湯が流れ出ていませんか。	逃し弁の動作確認をしてください。  41ページ ※お湯が止まらないときは、お取付け店又は東陶メンテナンス(株)  0120-1010-05(フリーダイヤル)にご連絡ください。
給湯、給水、ふろ配管から水漏れしていませんか。		お取付け店に、ご相談ください。	
温水器のわき上げ設定温度は「90℃」になっていませんか。		湯切れするとき、設定を「90℃」にご使用ください。  27ページ	
高温又は低温のお湯が出ない。	リモコンは希望の給湯温度に設定されていますか。	リモコンを希望の給湯温度に設定してください。	
適温のお湯が出ない。	サーモスタット付き混合栓の場合、リモコンの給湯温度設定は適切ですか。	リモコンの給湯温度設定を使用温度より約10℃高くしてください。	

故障かな?と思ったら

❖ 故障かな?と思ったら ❖

こ ん な と き		お調べいただきたいこと	していただきたいこと
リモコンに関すること	台所リモコンで給湯温度の変更ができない。	浴室リモコンの「優先」ランプが点灯していませんか。	浴室リモコンの優先スイッチを「切」にしてください。  19ページ
	浴室リモコンで給湯温度の変更ができない。	浴室リモコンの「優先」ランプが消灯していませんか。	浴室リモコンの優先スイッチを「入」にしてください。  19ページ
	電気代が高い。	リモコンの時計は合っていますか。	時計を現在時刻に合わせてください。  15ページ
	リモコン操作しても表示部が点灯しない。	100ℓ わき増しスイッチが「入」になっていませんか。 ①停電していませんか。 ②ブレーカ又は本体の電源スイッチが「OFF」(切)になっていませんか。	必要に応じて設定してください。  29ページ ①停電時は停電が終わるまでお待ちください。 ②ブレーカ・電源スイッチが「OFF」(切)になっているときは「ON」(入)にしてください。 ※2度、3度と「OFF」(切)になる場合は漏電のおそれがありますので、お取付け店又は東陶メンテナンス(株)  0120-1010-05(フリーダイヤル)にご連絡ください。
	表示画面にコード番号が表示されている。	50ページを参照ください。	_____
	「ぬるく」スイッチが入らない。または途中で停止する。	台所(シャワー)などでお湯が使われているときは、「ぬるく」できません。また、さし水中に給湯(シャワー)を使用すると「ぬるく」は停止します。	お湯の使用が終わってから、再度「ぬるく」スイッチを押してください。
お風呂に関すること	お湯はり量が多い・少ない、または浴槽からあふれる。	残り湯がある場合にお湯はりすると、その分湯量が増えます。	浴槽の水を完全に抜いてからお湯はりすると、通常どおりの量になります。

コード番号が表示されたときの処理方法

コード番号	異常内容	処置・調べていただきたいこと
消 灯 (ランプがつかない)	電源が切れています	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の漏電遮断器は作動していませんか。 ● ブレーカは作動していませんか。 電源が入らないときは、お取付け店又は、東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05(フリーダイヤル) [※] にご連絡ください。
072	浴槽残水なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽にお湯がない状態で 高温さし湯スイッチを操作していませんか。 (やけどの原因になります) 高温さし湯は浴槽に十分お湯があることを確かめてからご使用ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>浴槽が空の状態では高温さし湯を行った場合、危険防止のため、高温水の供給を中断することがあります。</p> <p>再度、お湯はり・高温さし湯、さし水を行うには、ふろアダプタが完全に隠れるまで、カラン等にて浴槽に適温のお湯または水を十分はってください。</p> </div>
079	湯切れ	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内のお湯がなくなったのでお湯はりができません。わき増し(29ページ、時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。
152	入水温度 高温警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水配管がソーラーと接続されていませんか。 ソーラーと接続すると、リモコンの設定温度より高い温度で出湯することがあるので大変危険です。ソーラーと接続はしないでください。
161	温水器出湯温度 高温警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水配管がソーラーと接続されていませんか。 ソーラーと接続すると、リモコンの設定温度より高い温度で出湯することがあるので大変危険です。ソーラーと接続はしないでください。
169	タンク内温度 異常	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内は満水になっていますか。 給水のしかたについては13・14ページの「使用前の準備」をご覧ください。
562	電磁弁異常	<ul style="list-style-type: none"> ● おふろのふろアダプタからお湯が漏れていませんか。ブレーカー及び本体の電源スイッチを「OFF」(切)にしてお取付け店又は、東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05(フリーダイヤル)[※]にご連絡ください。
572	断水	<ul style="list-style-type: none"> ● 断水ではありませんか。 断水が終わるまでお待ちください。 (断水の確認は最寄りの水道局へお問合せください。)
その他 (故障コードが 表示した場合)	安全装置が作動 しています	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の診断が必要です。 故障コードを確認の上、ブレーカー及び本体の電源スイッチを「OFF」(切)にして、お取付け店又は、東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05(フリーダイヤル) [※] にご連絡ください。

注) お取付け店の電話番号がリモコンに登録されている場合は登録されている電話番号にご連絡してください。

❖ 故障かな?と思ったら ❖

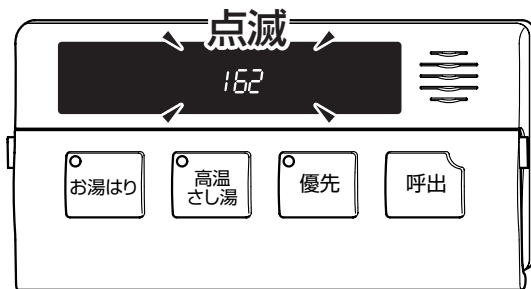
その他の装置が作動したときの処置方法

装置名	作動の原因・処置
漏電安全装置	<ul style="list-style-type: none"> • 機器内で漏電したときに通電をストップさせます。 ➡ お取付店または東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル)にご連絡ください。

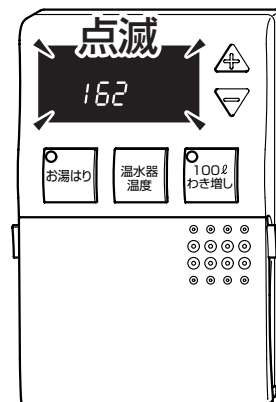
コード番号が出ているときの処置方法

表示例) コード番号162の場合

浴室リモコンでは



台所リモコンでは



コード番号の解除方法

いずれかのスイッチをもう一度押してください。

それでも、コード番号が表示されるときは、50ページの表示を確認のうえ
処置してください。

定期的な部品交換のお願い

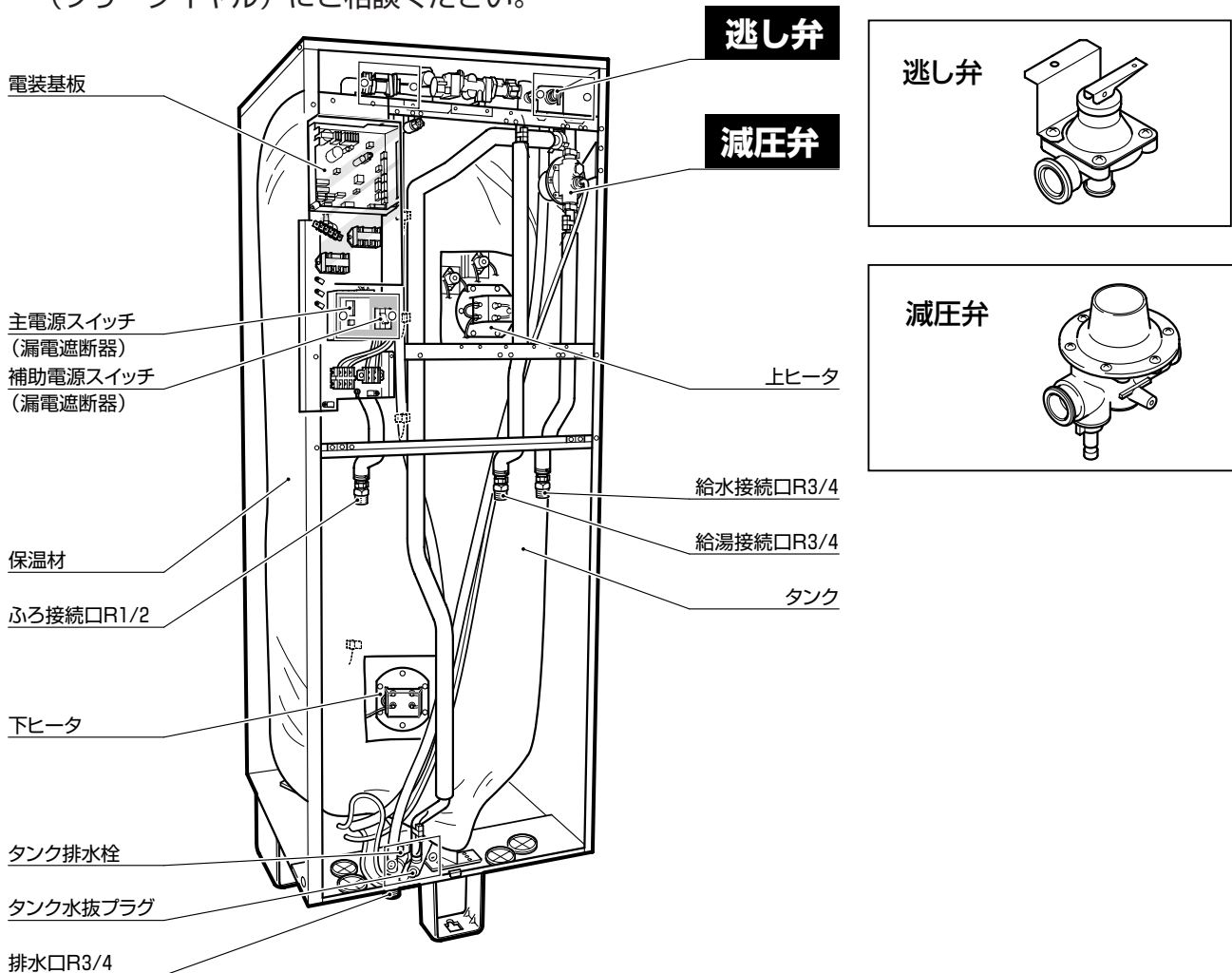
安全・快適にご利用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

減圧弁・逃し弁は劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので定期的に交換してください。（有料）

部品の寿命における、一般的な交換時期のめやすは以下の通りです。

部品名	交換時期のめやす (お取付け日より)	交換の理由
逃し弁	5年	長期間使用すると、水質・わき上がり温度・使用頻度など使用する条件によって変わりますが、弁体部が水中のスケールによって動かなくなったり、腐食し水漏れしたりすることがあります。水漏れが起きた場合、大きな被害を与えることがあります。
減圧弁		

なお、交換についてはお取付け店又は東陶メンテナンス（株）☎ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご相談ください。



定期的な部品交換のお願い

故障かな？と思ったら

定期点検のおすすめ（有料）

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご利用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお取付け店又は東陶メンテナンス（株）☎ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご相談ください。

✦ アフターサービス ✦

点検・修理を依頼される前に47～51ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。


保証書(製品に同梱されています。)

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されます。必ず「お取付け店・お取付け日・扱者印」が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証について

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、貼り付けラベルなどの注意にしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(本ページ内)をご確認ください。

修理を依頼されるときは

- 修理を依頼されるときは、お取り付け店または東陶メンテナンス(株)にご相談ください。
- 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 型式(電気温水器に貼ってある銘板で確認  7ページ)
 - ② 不具合現象の内容
 - ③ 取付年月日
 - ④ お名前・住所・電話番号
 - ⑤ お宅までの道順

銘板



型式をご確認ください。

深夜電力対応電気温水器

型 式	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
貯 湯 量	
沸上がり温度	
最高使用圧力	
満水時質量	



ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ

TEL  **0120-03-1010** 受付時間:
平日 9:00～18:00
FAX  **0120-09-1010** 土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンスへ

TEL  **0120-1010-05** 受付時間:
関東・甲信越地区 8:00～20:00
FAX  **0120-1010-02** 上記以外の地区 9:00～20:00

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の製造打切り後、10年保有しています。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器(株)の所有となります。

仕様

製品仕様

型 式	RE3714	RE3714U	RE4614	RE4614U
名 称	深夜電力対応電気温水器			
タ イ プ	角型配管内蔵型(自動ふる給湯)			
設 置 形 態	屋内・屋外・マンション兼用型			
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯契約/深夜電力8時間通電制御兼用型			
貯 湯 量	370ℓ		460ℓ	
電 源	時間帯別電灯契約時	主電源 単相200V		
		補助電源 (接続不要)		
	深夜電力契約時	主電源 深夜電力:単相200V		
		補助電源 昼間電力:単相100V/200V		
定 費 電 格 力	上部ヒータ	4.4kW		5.4kW
	下部ヒータ	4.4kW		5.4kW
	制御用	約25W		
	凍結予防ヒータ	32W(8W)※		
最 高 使 用 水 圧	97kPa(逃し弁設定値)	170kPa(逃し弁設定値)	97kPa(逃し弁設定値)	170kPa(逃し弁設定値)
通 常 使 用 水 圧	85kPa(減圧弁設定値)	150kPa(減圧弁設定値)	85kPa(減圧弁設定値)	150kPa(減圧弁設定値)
外 形 寸 法	641mm(幅)×693mm(奥行)×1865mm(高さ)		641mm(幅)×693mm(奥行)×2200mm(高さ)	
製 品 質 量 (満 水 質 量)	約71(441)kg		約82(542)kg	
接 続 口	給水・給湯接続口径	R3/4おねじ		
	排水接続口径	R3/4おねじ		
	ふる接続口径	R1/2おねじ		
制 御 方 法	サーミスタによる自動温度調節			
わ き 上 が り 温 度	約70℃・約80℃・約90℃・自動(70℃・80℃・90℃)			
給 湯 温 度	約35~50℃、60℃			
お 湯 は り 温 度	約35~48℃			
お 湯 は り 量	10ℓ~500ℓ			
高 温 さ し 湯	70℃/90℃(15ℓ)			
た し 湯	20ℓ			
さ し 水	10ℓ			
材 質	ケ ー ス	塗装鋼板		
	タ ン ク	高耐食フェライト系ステンレス鋼(YUS 190)		
	ヒ ー タ	高耐熱耐食合金シーズヒータ		
安 全 装 置	漏電遮断器・温度過昇防止器			

※()は補助電源が100V電源のとき

仕様

製品仕様

型	式	RE5614U
名	称	深夜電力対応電気温水器
タ	イ	プ
設	置	形態
適	用	電力制度
貯	湯	量
電	時間帯別 電灯契約時	主電源
		補助電源
	深夜電力 契約時	主電源
		補助電源
定	消	上
		下
費	電	制
		御
格	力	凍
		結
最	高	使
通	常	使
外	形	寸
製	品	質
接	続	給
		排
		ふ
制	御	方
わ	き	上
給	湯	温
お	湯	は
お	湯	は
高	温	さ
た	し	湯
さ	し	水
材	質	ケ
		タ
		ヒ
安	全	装

※()は補助電源が100V電源のとき

事業者様へのご案内

RE3714U、RE4614U、RE5614Uのみ

『労働安全衛生法施行令(労安法)』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法』(以下労安法)が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。労安法の規定において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

- 簡易ボイラー： 労安法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要、定期点検の義務もありません。
- 小型ボイラー： 今回の改正の対象は、伝熱面積 2m^2 (40kW)以下・水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器です。
労安法が適用になり、「事業所」に設置・使用される場合は、「事業者」様が労働安全衛生法令上、「設置報告」・「定期自主検査」・「特別教育」・「事故報告」を実施することが義務づけられています。
ここでいう「事業者」とは、事業を行う者のうち、労働者(賃金を支払われる者)を使用する者をいいます。ただし、同居の親族のみでの事業や事務所に対しては適用されません。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。
なお、届出は事業者様が行うことになっています。

【設置報告】

事業者様が高圧力型電気温水器を設置する時は、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務付けられています。

【定期自主検査】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために定期自主点検を実施することが義務付けられています。

【特別教育】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のため特別教育を実施することが義務付けられています。

【事故報告】

高圧力型電気温水器の事故などが発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務付けられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかを確認する必要があるため事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図(本体同梱)及び小型ボイラー明細書(本体同梱)ならびに小型ボイラー設置の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。小型ボイラーを同一事業所内で移転した場合は、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書が必要になります。

定期自主検査 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体

- ・ 製品本体からの水漏れの有無
- ・ 漏電遮断器の作動状況
- ・ 逃し弁の作動状態および漏れの有無
- ・ タンクの手入れ

配管

- ・ 損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の40～42ページ「定期的な点検」「日常のお手入れ」を参照してください。
なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の項目

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ボイラーの構造に関する知識 | 4. 小型ボイラーの運転及び保守 |
| 2. ボイラーの付属品に関する知識 | 5. 小型ボイラーの点検 |
| 3. 関係法令 | |

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。当取扱説明書を使用して、製品の取扱説明を行ってください。

事故報告 適用法令 → 労働安全衛生規則第96条

事業者様は小型ボイラーの破損の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

(1) ボイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条 1 事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）ならびに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条 1 事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。
2 (1) 小型ボイラーにあつては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
(2) 小型圧力容器にあつては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は磨耗の有無
3 事業者は、前項ただし書きの小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号にあげる事項について自主検査を行わなければならない。
事業者は、前2項の自主検査を行ったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条 1 事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のため特別の教育を行わなければならない。
2 前項の特別の教育は、次の科目について行うものとする。
1 ボイラーの構造に関する知識
2 ボイラーの付属品に関する知識
3 燃料及び燃焼に関する知識
4 関係法令
5 小型ボイラーの運転及び保守
6 小型ボイラーの点検
3 安衛則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

(2) 労働安全衛生規則

事故報告

第96条 1 事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。（1～2略）
3、小型ボイラー、令第1条5号の第1種圧力容器及び同条7号の第2種圧力容器の破裂の事故が発生したとき（以下略）

高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に適用される法令として以下のものがあります。

- ・ 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- ・ 労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
- ・ 労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
- ・ ボイラー又は圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

MEMO

✦ MEMO ✦
